



河田 惠昭 名誉教授

河田 惠昭 教授 略 歴

(学歴・職歴)

| | | | | |
|----|-----|-----|-----|---|
| 昭和 | 21年 | 3月 | 4日 | 大阪府大阪市に生まれる |
| | 39年 | 3月 | 17日 | 大阪府立大手前高等学校卒業 |
| | 40年 | 4月 | 1日 | 京都大学工学部土木工学科入学 |
| | 44年 | 3月 | 23日 | 京都大学工学部土木工学科卒業 |
| | 44年 | 4月 | 1日 | 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程入学 |
| | 46年 | 3月 | 23日 | 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了 |
| | 46年 | 4月 | 1日 | 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程進学 |
| | 49年 | 3月 | 31日 | 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程単位修得退学 |
| | 49年 | 4月 | 1日 | 京都大学防災研究所助手 |
| | 51年 | 11月 | 1日 | 京都大学防災研究所助教授(京都大学大学院工学研究科担当) |
| | 51年 | 11月 | 24日 | 京都大学工学博士号取得 |
| | 56年 | 10月 | 22日 | 米国ワシントン大学招へい研究員(昭和57年10月21日まで) |
| 平成 | 2年 | 6月 | 8日 | 京都大学防災研究所附属防災科学資料センターに配置換え |
| | 4年 | 8月 | 1日 | フルブライト上級研究員(米国プリンストン大学) (平成4年10月31日まで) |
| | 5年 | 4月 | 1日 | 京都大学防災研究所附属地域防災システム研究センター教授 |
| | 6年 | 4月 | 1日 | 通商産業技官(地質調査所国際協力室, 平成7年3月31日まで) |
| | 8年 | 5月 | 11日 | 京都大学防災研究所附属巨大災害研究センターに配置換え |
| | 8年 | 5月 | 11日 | 京都大学防災研究所附属巨大災害研究センター長 (平成17年3月31日まで) |
| | 10年 | 4月 | 17日 | 京都大学大学院情報学研究科担当 |
| | 14年 | 4月 | 1日 | 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターセンター長 (兼務, 現在に至る) |
| | 17年 | 4月 | 1日 | 京都大学防災研究所長(平成19年3月31日まで) |
| | 18年 | 4月 | 1日 | 京都大学経営協議会委員(平成19年3月31日まで) |
| | 19年 | 4月 | 1日 | 京都大学防災研究所附属巨大災害研究センター長 |
| | 20年 | 4月 | 1日 | 大阪大学招へい教授(接合科学研究所, 平成21年3月31日まで) |

(非常勤講師歴)

| | | | | |
|--|-----|----|----|---|
| | 3年 | 4月 | 1日 | 関西大学工学部 河川工学(I)前期担当, 河川工学(II)後期担当 (平成14年3月31日まで) |
| | 6年 | 6月 | 1日 | 名古屋工業大学 災害論担当(平成6年6月30日まで) |
| | 7年 | 4月 | 1日 | 大阪大学工学部 防災工学担当(平成8年9月30日まで) |
| | 7年 | 6月 | 1日 | 茨城大学工学部 自然災害担当(平成8年3月30日まで) |
| | 10年 | 4月 | 1日 | 大阪大学工学部 危機管理担当(平成11年3月31日まで) |
| | 14年 | 4月 | 1日 | 関西大学工学部 地球防災工学担当(平成21年3月31日まで) |

(学会・委員等歴)

| | | | |
|----|-----|-----|---|
| 昭和 | 57年 | 4月 | 和歌山県・白良浜保全対策協議会委員(昭和59年3月まで) |
| 平成 | 2年 | 6月 | 日本自然災害学会評議員・理事(平成21年3月まで) |
| | 4年 | 4月 | 建設省北陸地方建設局 下新川海岸保全委員会委員および委員長(平成11年3月まで) |
| | 6年 | 4月 | (社)建設コンサルタンツ協会近畿支部 湾域都市の水防災研究委員会委員長(平成9年3月まで) |
| | 6年 | 8月 | (財)リバーフロント整備センター 海岸研究会委員(平成10年3月まで) |
| | 7年 | 7月 | 神戸市復興計画検討委員会委員(平成7年3月まで) |
| | 7年 | 5月 | 大阪市土木・建築構造物震災対策技術検討会委員(平成9年6月まで) |
| | 7年 | 5月 | 地震に強い京都づくり懇話会委員(平成9年3月まで) |
| | 7年 | 9月 | (財)堺都市政策研究所 都市型災害における危機管理のあり方に関する調査研究委員(平成8年3月まで) |
| | 7年 | 10月 | 防災研究協会非常勤研究員(平成21年3月まで) |
| | 7年 | 12月 | 大阪市計画局 土地利用審査会委員(平成9年12月まで) |
| | 8年 | 1月 | 科学技術・学術審議会専門委員(研究計画・評価分科会)「防災分野の研究開発に関する委員会」(平成21年1月まで) |
| | 8年 | 5月 | 海上保安庁第五管区海上保安本部 沿岸防災情報図委員会委員長(平成9年3月まで) |
| | 8年 | 5月 | 三重県 地域防災計画被害想定調査委員会委員および委員長(平成18年3月まで) |
| | 8年 | 7月 | 工業技術院地質調査所 通商産業技官(平成10年3月まで) |
| | 9年 | 8月 | 建設省 河川審議会専門委員(平成11年8月まで) |
| | 9年 | 10月 | 日本学術会議 社会環境工学研究連絡委員会委員(平成18年10月まで) |
| | 9年 | 10月 | (社)海外コンサルティング企業協会 「開発途上国における防災体制の整備促進調査」の社会主義国第2年度国内支援委員会委員長(平成11年3月まで) |
| | 9年 | 12月 | 北海道開発局 岩盤崩落に対する地域防災調査委員会委員(平成12年3月まで) |
| | 10年 | 3月 | 三重県 防災会議防災計画部会専門委員長(平成10年7月まで) |
| | 10年 | 4月 | (社)建設コンサルタンツ協会近畿支部 広域・複合水災害研究委員会委員長(平成11年3月まで) |
| | 10年 | 7月 | 科学技術庁研究開発局 都市基盤施設の地震防災向上に関する調査の調査推進委員会委員(平成11年3月まで) |
| | 10年 | 7月 | 科学技術庁研究開発局 アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する準備の研究推進委員会委員(平成16年3月まで) |
| | 10年 | 10月 | 兵庫県 新湊川浸水災害調査委員会副委員長(平成11年3月まで) |
| | 10年 | 11月 | (財)地震予知総合研究振興会 津波ビデオ制作検討ワーキンググループ委員(平成11年3月まで) |
| | 11年 | 4月 | (財)建設コンサルタンツ協会近畿支部 多自然水辺整備研究委員会外来委員(平成13年3月まで) |
| | 11年 | 4月 | 日本自然災害学会会長(平成14年3月まで) |

| | | |
|-----|-----|--|
| 11年 | 8月 | 兵庫県知事公室防災企画課 震災対策国際総合検証会議国内検証委員(平成12年3月まで) |
| 11年 | 8月 | 建設省土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議・耐風耐震構造専門部会作業部会委員(平成13年6月まで) |
| 11年 | 11月 | 防災情報機構NPO法人参与(平成12年11月まで) |
| 12年 | 2月 | 高潮防災情報等のあり方研究会座長(平成13年3月まで) |
| 12年 | 2月 | (財)亜熱帯総合研究所 島嶼における自然災害に関する調査研究委員会委員長(平成12年3月まで) |
| 12年 | 2月 | 国土交通省北陸地方建設局 北陸沿岸地域海岸調査検討委員会委員長(平成14年3月まで) |
| 12年 | 7月 | (財)消防科学総合センター 地域防災データ総覧－風水害編[改訂版]－編集委員会委員(平成13年3月まで) |
| 12年 | 10月 | 国際協力事業団 事業戦略調査研究「防災と開発」委員長(平成14年1月まで) |
| 12年 | 11月 | 愛知県災害対策懇話会委員長(平成14年3月まで) |
| 12年 | 11月 | 国土交通省近畿地方整備局 新・近畿長期ビジョン策定懇談会委員(平成13年12月まで) |
| 12年 | 12月 | 愛知県水害対策検討委員会委員長(平成14年3月まで) |
| 12年 | 12月 | 国土交通省北陸地方建設局 設計施工一括型競争入札技術審査委員会アドバイザー(平成13年3月まで) |
| 13年 | 1月 | 名古屋市 防災情報収集伝達システム整備調査専門委員会委員(平成13年3月まで) |
| 13年 | 2月 | アニメックス技術指導員(平成17年4月まで) |
| 13年 | 3月 | 中央防災会議専門委員(調査審議終了まで) |
| 13年 | 4月 | (財)阪神・淡路大震災記念協会理事(平成19年3月まで) |
| 13年 | 4月 | 兵庫県参与(平成21年3月まで) |
| 13年 | 4月 | 平成13年度国立歴史民俗博物館共同研究員(平成14年3月まで) |
| 13年 | 5月 | (社)建設コンサルタント協会 平成13年度自然共生型水辺空間研究委員会学識委員(平成16年3月まで) |
| 13年 | 6月 | 科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査委員(平成21年3月まで) |
| 13年 | 6月 | 海岸工学委員会委員長(平成15年6月まで) |
| 13年 | 7月 | ひょうご安心人材訓練センター構想策定委員会委員(平成13年12月まで) |
| 13年 | 7月 | 国土交通省北陸地方整備局黒部工事事務所 下新川海岸保全検討委員会委員長(平成20年3月まで) |
| 13年 | 7月 | 阪神南地域津波災害対策検討会(仮称)顧問(平成14年3月まで) |
| 13年 | 8月 | 明石市民夏まつり事故調査委員会副委員長(平成13年10月まで) |
| 13年 | 8月 | 神戸文明博物館群構想－土木博物館(仮称)具体化検討委員会委員(平成16年3月まで) |
| 13年 | 10月 | 淡路地域津波災害対策検討会委員長(平成14年3月まで) |
| 13年 | 10月 | 阪神・淡路大震災メモリアルセンター(仮称)名称募集審査委員会委員(平成14年3月まで) |
| 13年 | 10月 | 大規模災害対策研究機構理事長(平成21年3月まで) |

| | | |
|-----|-----|---|
| 13年 | 11月 | (財) 都市防災研究所 津波観測装置の設置ガイドライン検討委員会委員(平成14年3月まで) |
| 13年 | 11月 | 大阪府豊能郡美化センター焼却施設内汚染物保管・運搬検討委員会委員(平成14年3月まで) |
| 14年 | 1月 | (財) 国土技術研究センター 「安全な国土形成危機管理体制の充実」分科会委員(平成14年3月まで) |
| 14年 | 4月 | (財) 阪神・淡路大震災記念協会理事副理事長(平成15年3月まで) |
| 14年 | 4月 | 東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター協議会委員(平成20年3月まで) |
| 14年 | 4月 | (財) 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長(平成21年3月まで) |
| 14年 | 5月 | (財) 港湾空港建設技術サービスセンター 港湾の防災に関する懇談会委員(平成14年7月まで) |
| 14年 | 6月 | 大阪府都市型水害対策検討委員会委員(平成18年3月まで) |
| 14年 | 10月 | 奈良県地震被害想定調査検討委員会委員長(平成17年3月まで) |
| 14年 | 11月 | (財) 沿岸開発技術研究センター 高知港・高潮防災ステーション基本方針策定検討委員長(平成15年3月まで) |
| 14年 | 11月 | (財) 神戸国際観光コンベンション協会 震災対策技術展シンポジウム実行委員会委員(平成17年2月まで) |
| 14年 | 11月 | (社) 土木学会 海岸施設の利用者の安全性に関する調査研究特別小委員会委員長(平成16年3月まで) |
| 14年 | 11月 | 気象庁地震火山部 ナウキャスト地震情報検討委員会委員(平成16年3月まで) |
| 14年 | 11月 | (財) 沿岸開発技術研究センター 高潮・津波ハザードマップ研究会委員長(平成16年まで) |
| 14年 | 12月 | 名古屋駅地区滞留者等対策検討委員会委員(平成15年3月まで) |
| 15年 | | 京都大学国際教育プログラム 講師(平成18年まで) |
| 15年 | 1月 | 兵庫県地方分権検証会議消防防災部会委員(平成18年10月まで) |
| 15年 | 4月 | 岐阜県総合防災アドバイザー(平成18年3月まで) |
| 15年 | 4月 | (財) 阪神・淡路大震災記念協会副理事長(平成21年3月まで) |
| 15年 | 4月 | 文部科学省科学技術・学術政策局 安全・安心の社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会委員(平成16年3月まで) |
| 15年 | 5月 | (財) 防災研究協会 東南海・南海地震津波対策検討委員会委員(平成16年3月まで) |
| 15年 | 6月 | 国土交通省近畿地方整備局 東南海・南海地震津波等広域連携防災対策検討会委員長(平成16年3月まで) |
| 15年 | 6月 | 明石市特命プロジェクトチーム(大蔵海岸陥没事故担当)アドバイザー(平成16年3月まで) |
| 15年 | 6月 | 原子力土木委員会/津波評価部会・委員(平成21年3月まで) |
| 15年 | 7月 | 岡山県 東備地区広域漁場整備事業安全対策検討委員会委員(平成16年3月まで) |
| 15年 | 8月 | 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員(平成17年7月まで) |
| 15年 | 11月 | (財) 港湾空間高度化環境センター 川崎港基幹の広域防災拠点整備計画委員会委員長(平成16年3月まで) |

| | | |
|-----|-----|--|
| 15年 | 11月 | (社)日本公園緑地協会 国営東京臨海広域防災公園基本設計検討委員会委員(平成16年3月まで) |
| 15年 | 11月 | (財)消防科学総合センター 「防災・危機管理e-カレッジ」開発協力者(平成17年3月まで) |
| 15年 | 12月 | 環境防災総合政策研究機構理事長(平成21年3月まで) |
| 15年 | 12月 | (社)日本港湾協会 大阪湾港湾の基本構想懇談会委員(平成18年3月まで) |
| 16年 | 1月 | (財)阪神・淡路大震災記念協会 復興10年委員会委員(平成17年3月まで) |
| 16年 | 1月 | 名古屋市 地域特性に応じた防災力向上検討委員会委員(平成17年3月まで) |
| 16年 | 3月 | 内閣府・政策統括官(防災担当) 国連防災世界会議に係る国内準備会合委員(平成17年1月まで) |
| 16年 | 3月 | 国土交通省近畿地方整備局 京阪神都市圏広域防災拠点整備協議会アドバイザー(平成20年3月まで) |
| 16年 | 4月 | 京都大学東南アジア研究所学内研究担当(平成21年3月まで) |
| 16年 | 4月 | 防災研究協会非常勤講師(平成17年3月まで) |
| 16年 | 4月 | 防災研究協会評議員(平成21年3月まで) |
| 16年 | 4月 | 三菱財団専門委員(平成20年3月まで) |
| 16年 | 4月 | (財)阪神・淡路大震災記念協会 21世紀文明研究委員会委員(平成18年3月まで) |
| 16年 | 7月 | 兵庫県 防災リーダー講座カリキュラム検討委員会委員(平成17年3月まで) |
| 16年 | 8月 | 兵庫県 東南海・南海地震防災対策実施要領検討委員会委員長(平成17年3月まで) |
| 16年 | 8月 | (社)土木学会 会長提言特別委員会委員(総務主査)(平成17年5月まで) |
| 16年 | 8月 | (独)防災科学技術研究所 研究開発課題外部評価委員(平成20年8月まで) |
| 16年 | 9月 | (財)都市計画協会 「まちづくり専門家派遣事業」に基づくまちづくり専門家 委員(平成17年3月まで) |
| 16年 | 9月 | (独)防災科学技術研究所 危機管理対応情報共有技術による減災対策研究運営委員会委員(平成19年3月まで) |
| 16年 | 10月 | 兵庫県 津波災害研究会委員長(平成18年3月まで) |
| 16年 | 10月 | (財)沿岸技術研究センター 津波・高潮ハザードマップ事例集検討会委員長(平成17年3月まで) |
| 16年 | 10月 | 内閣府 津波避難ビル等に係るガイドライン検討委員会委員(平成17年3月まで) |
| 16年 | 11月 | 新潟県中越地震災害義援金配分委員会委員長(平成17年3月まで) |
| 16年 | 12月 | ノムラフォーシーズ技術指導員(平成17年12月まで) |
| 17年 | 2月 | 国土交通省河川局海岸室 津波対策検討委員会委員長(平成17年3月まで) |
| 17年 | 2月 | (財)日本気象協会北海道支社 積雪寒冷地における地震防災基盤整備事業推進調査に係わる検討会委員(平成17年3月まで) |
| 17年 | 2月 | 高知工科大学 防災に関する国際シンポジウム科学技術委員(平成18年3月まで) |

| | | |
|-----|-----|---|
| 17年 | 3月 | 内閣府 中山間地等の集落散在地域における地震防災対策に関する検討会委員長(平成17年8月まで) |
| 17年 | 4月 | (財)地震予知総合研究振興会 防災研究フォーラム幹事会委員(平成18年3月まで) |
| 17年 | 4月 | 九州大学応用力学研究所運営協議員(平成19年3月まで) |
| 17年 | 4月 | (株)パスコ SAR技術応用研究会委員(平成21年3月まで) |
| 17年 | 4月 | 防災研究協会理事(平成20年3月まで) |
| 17年 | 4月 | 関西大学経営審議会委員(平成20年9月まで) |
| 17年 | 4月 | 防災研究協会業務運営委員(平成21年3月まで) |
| 17年 | 4月 | 日本自然災害学会学会賞選考委員(平成21年3月まで) |
| 17年 | 4月 | 兵庫県住宅再建共済制度運営協議会委員(平成18年3月まで) |
| 17年 | 5月 | 文部科学省研究開発局 地震調査研究推進本部政策委員会委員(平成22年4月まで) |
| 17年 | 5月 | 総務省消防庁 初動時における被災地情報収集のあり方に関する検討会委員長(平成17年8月まで) |
| 17年 | 6月 | 奈良県地震防災対策アクションプログラム策定検討委員会委員長(平成19年3月まで) |
| 17年 | 6月 | (社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 防災研究会主査(平成20年3月まで) |
| 17年 | 7月 | (独)防災科学技術研究所 実大三次元振動破壊実験施設運営協議会委員(平成21年3月まで) |
| 17年 | 7月 | 内閣官房情報セキュリティ政策会議技術戦略専門委員会委員(平成21年3月まで) |
| 17年 | 9月 | 国土交通省国土計画局 国土審議会特別委員(平成18年9月まで) |
| 17年 | 10月 | 国土交通省河川局・港湾局 ゼロメートル地帯の高潮対策検討委員会委員長(平成18年3月まで) |
| 17年 | 10月 | 長岡市防災体制検討委員会アドバイザー(平成18年3月まで) |
| 17年 | 11月 | 特定非営利活動法人環境防災総合政策研究機構 災害支援物資の備蓄・物流計画ガイドライン検討会委員長(平成18年2月まで) |
| 18年 | 1月 | 東京大学地震研究所協議会協議員(平成20年3月まで) |
| 18年 | 1月 | 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員(平成21年12月まで) |
| 18年 | 1月 | (社)土木学会 平成16年度会長提言特別委員会 国民の防災意識向上に関する特別委員会委員(平成18年5月まで) |
| 18年 | 1月 | (独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター評価分科会専門委員(平成19年3月まで) |
| 18年 | 1月 | 兵庫県淡路県民局 福良港津波対策検討委員会委員長(平成19年3月まで) |
| 18年 | 4月 | 宇治市防災会議委員(平成19年3月まで) |
| 18年 | 5月 | 神戸新聞社客員論説委員(平成20年5月まで) |
| 18年 | 5月 | 宇治市国民保護協議会委員(平成20年5月まで) |
| 18年 | 5月 | 大阪府自然災害総合防災対策検討委員会副委員長(平成18年8月まで) |
| 18年 | 6月 | 大阪市港湾局 大阪港津波対策検討業務委託者選定委員会委員長(平成18年8月まで) |
| 18年 | 6月 | 大阪市港湾局 大阪港地震・津波対策検討委員会委員長(平成20年3月まで) |

| | | |
|-----|-----|---|
| 18年 | 6月 | (財)社会経済生産性本部 新都建設推進協議会委員(平成19年3月まで) |
| 18年 | 7月 | 社会マネジメントシステム学会運営委員・査読委員(平成21年12月まで) |
| 18年 | 7月 | 国土交通省総合政策局 建設機械等による災害対処・普及支援に関する懇談会座長(平成19年2月まで) |
| 18年 | 7月 | (独)防災科学技術研究所 防災研究フォーラム幹事(平成19年3月まで) |
| 18年 | 8月 | (財)沿岸技術研究センター TSUNAMI出版委員会委員(平成20年3月まで) |
| 18年 | 8月 | 日本学会会議連携会員(平成21年3月まで) |
| 18年 | 9月 | 中越防災安全推進機構相談役(平成20年3月まで) |
| 18年 | 9月 | 外務省国際協力局多国間協力課 気候変動への適応に対するODAに関する有識者会議委員(平成19年3月まで) |
| 18年 | 10月 | 新潟県 防災立県推進戦略顧問(平成21年3月まで) |
| 19年 | 1月 | 総務省消防庁 緊急物資調達の調整合体・方法に関する検討会委員長(平成19年3月まで) |
| 19年 | 2月 | (財)沿岸技術研究センター 臨海部広域津波対策ワーキンググループ委員(平成19年3月まで) |
| 19年 | 4月 | 人と防災未来センター 学術誌「減災」企画編集委員会委員長(平成21年3月まで) |
| 19年 | 4月 | 国土交通省近畿地方整備局近畿圏広域地方計画推進室 近畿圏広域地方計画学識者会議(平成21年3月まで) |
| 19年 | 5月 | 岡山県防災対策条例制定検討委員会委員長(平成20年3月まで) |
| 19年 | 6月 | 国土交通省近畿地方整備局 津波情報提供に関する検討委員会委員長(平成19年9月まで) |
| 19年 | 6月 | (財)沿岸技術研究センター 高潮による大規模浸水事態検討W/G委員(平成21年3月まで) |
| 19年 | 7月 | 国土交通省近畿地方整備局 大阪湾高潮対策協議会アドバイザー(平成20年3月まで) |
| 19年 | 8月 | 国土交通省近畿地方整備局 淀川水系流域委員会委員(平成21年8月まで) |
| 19年 | 10月 | 姫路市 EAROPH姫路・兵庫世界大会2008論文委員会委員長(平成20年10月まで) |
| 20年 | 1月 | 宇宙航空研究開発機構非常勤招聘職員(平成21年12月まで) |
| 20年 | 2月 | 交流協会非常勤講師(平成21年3月まで) |
| 20年 | 2月 | 新潟県中越大震災義援金事業検討委員会 顧問(義援金完了まで) |
| 20年 | 3月 | 本願寺維持財団防災対策委員会委員長(平成21年3月まで) |
| 20年 | 3月 | 国土交通省河川局 高波災害対策検討委員会委員長(平成20年12月まで) |
| 20年 | 4月 | (財)沿岸技術研究センター 平成21年度インドネシアにおける津波対策の周知啓発検討委員会委員(平成21年3月まで) |
| 20年 | 5月 | (独)宇宙航空研究開発機構 防災への衛星利用に関する諮問委員会委員長(平成21年2月まで) |

| | | |
|-----|-----|--|
| 20年 | 10月 | 三重大学 「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」に係る防災機能強化検討委員会委員(平成21年3月まで) |
| 20年 | 10月 | 関西大学理事(平成21年3月まで) |
| 20年 | 10月 | (社)中越防災安全推進機構 防災・安全・復興に関する国際シンポジウム組織委員会 |
| 20年 | 10月 | 鳥取県政アドバイザースタッフ(平成21年3月まで) |
| 20年 | 11月 | 国土交通省河川局 大規模自然災害時の初動対応における装備・システムのあり方検討委員会委員(平成21年5月まで) |
| 20年 | 11月 | (財)新潟県中越大震災復興基金 地域復興支援事業(地域貢献型中越復興研究支援)選考評価委員(平成21年3月まで) |

(賞 罰)

| | | | | |
|----|-----|-----|-----|--------------------------------|
| 平成 | 3年 | 10月 | 3日 | 日本自然災害学会学術賞(受賞課題:社会の防災力に関する研究) |
| 平成 | 4年 | 5月 | 28日 | 土木学会論文賞(受賞課題:漂砂量則とその計測法に関する研究) |
| | 14年 | 5月 | 15日 | 兵庫県防災功労者表彰 |
| | 18年 | 9月 | 8日 | 防災功労者防災担当大臣表彰 |
| | 19年 | 10月 | 10日 | 国連SASAKAWA防災賞(本邦初受賞) |

河 田 惠 昭 研 究 業 績
論 文

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|---|---|
| 1970 | 飛砂における砂粒の運動機構(1)-砂粒の移動限界に関する実験- | 京都大学防災研究所年報, 第13号B, pp.217-232 | 土屋義人 |
| 1971 | 飛砂における砂粒の運動機構(2)-砂粒のSaltationの特性について- | 京都大学防災研究所年報, 第14号B, pp.311-325 | 土屋義人 |
| 1971 | 飛砂における砂粒のSaltationの特性について | 海岸工学講演会論文集, 第18回, pp.359-364 | 土屋義人 |
| 1971 | 大瀨海岸における海岸変形に関する観測(1)-1970年冬期季節風時の観測結果について- | 京都大学防災研究所年報, 第14号B, pp.465-485 | 土屋義人・白井亨・中村重久・山口正隆・芝野照夫・吉岡茂 |
| 1972 | Characteristics of saltation of sand grains by wind | Proc. 13th Coastal Eng. Conf., pp.1617-1625 | Tsuchiya, Y. |
| 1973 | 日本海沿岸における冬期波浪の協同観測 | 京都大学防災研究所年報, 第16号A, pp.29-39 | 土屋義人・中島暢太郎・白井亨・中村重久・田中正昭・山口正隆・芝野照夫・川鍋安次・原見敬二 |
| 1973 | 日本海沿岸における冬期波浪の観測資料集(1) | 京都大学防災研究所年報, 第16号B, pp.555-577 | 土屋義人・中島暢太郎・白井亨・中村重久・田中正昭・山口正隆・芝野照夫・川鍋安次・原見敬二 |
| 1975 | 白良浜の海浜過程について | 海岸工学講演会論文集, 第22回, pp.343-348 | 土屋義人・芝野照夫・林省造 |
| 1975 | 砂粒のSALTATIONに基づく飛砂量則について | 水理講演会論文集, 第19回, pp.7-12 | 土屋義人 |
| 1975 | Prediction of beach erosion at Murozumi beach | Jour. Natural Disas. Sci., Vol.2, No.1, pp.33-68 | Tsuchiya, Y., M. Yamaguchi, and T. Shibano, T. Yamashita |
| 1976 | 飛砂における砂粒の移動限界と飛砂量に及ぼす含水比の影響 | 土木学会論文報告集, No.249, pp.95-100 | 土屋義人 |
| 1975 | ウォッシュ・ロードに関する研究-大戸川の観測結果について- | 京都大学防災研究所年報, 第18号B, pp.541-549 | 村本嘉雄・藤田裕一郎・中村行雄 |
| 1978 | 波のそ上に及ぼす粗度および透水性の効果 | 海岸工学講演会論文集, 第25回, pp.160-164 | 土屋義人・矢下忠彦 |
| 1978 | Beach Processes of Shirahama "a Pocket Beach" | Bull. Disas. Prev. Res. Inst., Vol.28, No.2, pp.33-68 | Tsuchiya, Y., T. Shibano, S. Nakamura, T. Yamashita, H. Yoshioka, S. Serizawa and Kardana |
| 1978 | 砂礫河川の掃流砂に関する基礎的研究 | 京都大学防災研究所年報, 第20号B-2, pp.451-474 | 村本嘉雄・布村明彦 |
| 1979 | 透水性海浜における孤立波のそ上機構 | 海岸工学講演会論文集, 第26回, pp.75-79 | 土屋義人 |
| 1980 | 浜漂砂に及ぼす吸水の影響について | 海岸工学講演会論文集, 第27回, pp.270-274 | 土屋義人 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|--|---------------------------------------|
| 1981 | Risk to life, warning systems, and protective construction against past storm surges in Osaka bay | Jour. Natural Disas. Sci., Vol.2, No.3, pp.33-55 | Tsuchiya, Y. |
| 1981 | 環境アセスメントの諸問題-高潮- | 環境アセスメントの諸問題, pp.63-75 | |
| 1981 | 高潮災害の変遷と将来予測 | 水工学に関する夏期研修, pp.85-104会講義集 | |
| 1981 | 富山県宮崎海岸の海浜過程について | 京都大学防災研究所年報, 第24号B-2, pp.433-473 | 土屋義人・山口正隆・白井亨・芝野照夫・山下隆男・A.R.Syamsudin |
| 1982 | 現地海岸における水面変動の時空間特性 | 海岸工学講演会論文集, 第29回, pp.26-30 | 土屋義人・芝野照夫・山下隆男・小林証雄 |
| 1984 | 漂砂の移動限界に及ぼす吸水の効果 | 海岸工学講演会論文集, 第31回, pp.267-271 | L. H. Larsen |
| 1984 | 飛砂 | 海洋科学第16巻, 第7号, pp.394-401 | |
| 1984 | 日本海中部地震津波による災害について | 京都大学防災研究所年報, 第27号A, pp.1-29 | 土屋義人・酒井哲郎・中村重久・芝野照夫・吉岡洋・山下隆男・島田富美雄 |
| 1984 | 三隅川の洪水災害-洪水氾濫と家屋の被害- | 京都大学防災研究所年報, 第27号B-2, pp.179-196 | 中川一 |
| 1984 | 白良浜の海浜過程とその保全(1) | 京都大学防災研究所年報, 第27号B-2, pp.513-555 | 土屋義人・芝野照夫・山下隆男 |
| 1984 | 琵琶湖岸、萩の浜の海浜過程に関する研究 | 京都大学防災研究所年報, 第27号B-2, pp.641-681 | 土屋義人・芝野照夫・山下隆男 |
| 1985 | 白良浜の海浜過程とその保全(2) | 京都大学防災研究所年報, 第28号B-2, pp.565-589 | 土屋義人・Richard Silvester |
| 1986 | 一様海浜における離岸流の発生と沿岸境界条件 | 海岸工学講演会論文集, 第33回, pp.36-40 | 土屋義人・芝野照夫・Dadang Ahmad・宍倉知広 |
| 1986 | Historical study of changes in storm surge disasters in the Osaka area | Jour. Natural Disas. Sci., Vol.8, No.2, pp.1-18 | Tsuchiya, Y. |
| 1986 | 災害の科学 - 高潮との戦い - | NHK市民大学テキスト, pp.92-104 | |
| 1986 | 災害の科学-災害史に学ぶ- | NHK市民大学テキスト, pp.129-143 | |
| 1986 | 大阪における安政南海道津波の復元(1)-氾濫災害について- | 京都大学防災研究所年報, 第29号B-2, pp.763-794 | 土屋義人 |
| 1987 | 波・流れの共存場における局所洗掘 | 海岸工学講演会論文集, 第34回, pp.402-406 | 土屋義人・錦織慎 |
| 1987 | 波・流れの共存場における局所洗掘-砂れんの発生しない場合- | 海岸工学講演会論文集, 第35回, pp.397-401 | 朝堀泰明・土屋義人 |
| 1987 | Applicability of sub-sand system to beach erosion control | Proc. 20th Coastal Eng. Conf., pp.1255-1267 | Y.Tsuchiya |
| 1987 | 大阪における安政南海道津波の復元 | 歴史地震, 第3号, pp.13-42 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|--|----------------------|
| 1987 | 大阪における高潮・津波災害の変遷 | 都市防災シンポジウム講演集, pp.73-78 | 土屋義人 |
| 1987 | 高潮の極値統計 | 水工学に関する夏期研修会講義集, 第23回 B-7, pp.1-22 | |
| 1987 | Historical changes of storm surge disasters in Osaka | Natural and Manmade Hazards, Vol.1, pp.279-303 | Tsuchiya, Y. and |
| 1988 | 黎明期における防波堤の工法選択とお雇い技師(1)-防波堤工法の変遷- | 自然災害科学, Vol.7, No.2, pp.21-35 | |
| 1988 | 黎明期における防波堤の工法選択とお雇い技師(2)-お雇い技師と近代築港- | 自然災害科学, Vol.7, No.8, pp.1-22 | |
| 1988 | T型栈橋による高波浪時の海底地形計測法 | 海岸工学講演会論文集, 第35回, pp.387-391 | 吉岡洋・芹澤重厚・土屋義人 |
| 1988 | Extremal statistics of storm surges by typhoon | Proc. 21st Coastal Eng. Conf., pp.115-131 | Tsuchiya, Y. |
| 1988 | Local scour around cylindrical piles due to waves and currents combined | Proc. 21st Coastal Eng. Conf., pp.1310-1322 | Y. Tsuchiya |
| 1988 | Extremal statistics of tsunamis in Osaka | Proc. 6th Congress of APD-IAHR, pp.241-247 | Y. Tsuchiya |
| 1988 | 大阪における安政南海道津波の復元(2)-津波の伝播・氾濫特性について- | 京都大学防災研究所年報, 第31号B-2, pp.723-751 | 土屋義人・酒井哲郎・島田富美男 |
| 1988 | 海岸侵食制御構造物論 | 海岸, 第28号, pp.21-31 | |
| 1988 | 大阪における水災害の歴史の変遷 | 夏季大学 気象予報と防災(災害), 第10回, pp.13-42 | |
| 1989 | わが国と中国における自然災害の発生頻度特性 | 京都大学防災研究所年報, 第32号B-2, pp.891-908 | 法花真司 |
| 1989 | 不等流沿岸流における流速分布の相似性について | 海岸工学論文集, 第36巻, pp.234-238 | 土屋義人・H. Refaat |
| 1989 | 高波浪時における漂砂観測法 | 海岸工学論文集, 第36巻, pp.269-273 | 吉岡洋・藤木繁男・土屋義人 |
| 1989 | 傾斜海浜における漂砂量則について | 海岸工学論文集, 第36巻, pp.289-293 | |
| 1989 | Methodology of beach erosion control and its application | Coastal Eng. in Japan, Vol.31, No.1, pp.113-132 | |
| 1989 | Flooding due to the Ansei Nankaido tsunami in Osaka | Proc. Japan-China Joint Seminar on Natural Hazard Mitigation, pp.505-514 | Tsuchiya, Y. |
| 1989 | 砂粒の移動機構 | 地学雑誌, Vol.98, No.6, pp.746-753 | |
| 1990 | 岸沖・沿岸漂砂量則の統一表示 | 海岸工学論文集, 第37巻, pp.259-263 | 土屋義人 |
| 1990 | 高波浪時の海底微地形の観測 | 海岸工学論文集, 第37巻, pp.269-273 | 白井亨, 吉岡洋, 伊藤政博, 土屋義人 |
| 1990 | 沖浜における海浜断面形状の形成 | 海岸工学論文集, 第37巻, pp.324-328 | 土屋義人・西良一 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|---|
| 1990 | 防災ポテンシャルの評価法 | 自然災害科学, Vol.9, No.1, pp.1-16 | |
| 1990 | 自然災害における人的被害の極値とその推定法 | 京都大学防災研究所年報, 第33号B-2, pp.483-501 | |
| 1990 | 社会の防災力を測る | 土木学会誌, 5月号, pp.20-21 | |
| 1990 | 資料解析による都市直下型地震の被害者数の推定法 | 歴史地震, 第6巻, pp.1-10 | |
| 1990 | Similarity of velocity profiles in non-uniform longshore currents | Proc. 22nd Coastal Eng. Conf., pp.281-292 | Hossam El-din A.A.Refaat, Y Tsuchiya |
| 1990 | The in situ measurements of sediment transport and bottom topography changes | Proc. 22nd Coastal Eng. Conf., pp.2322-2345 | H.Yoshioka and Y.Tsuchiya |
| 1990 | Local scour control under waves and currents combined | Proc. 1st ISOPE, Vol.2, pp.296-300 | Y.Tsuchiya |
| 1991 | 掃流・浮遊漂砂の接続法と全漂砂量の算定 | 海岸工学論文集, 第38巻, pp.221-225 | 西良一 |
| 1991 | 台風特性に及ぼす長期的な気温変化の影響 | 海岸工学論文集, 第38巻, pp.931-935 | |
| 1991 | 都市災害の特質とその巨大化のシナリオ-災害文化論事初め- | 自然災害科学, Vol.10, No.1, pp.33-45 | |
| 1991 | 防災問題における資料解析研究(18) | 京都大学防災研究所年報, 第34号A, pp.191-197 | 土屋義人・西上鉄也 |
| 1991 | 比較自然災害論序説-天変地異とペスト- | 京都大学防災研究所年報, 第34号B-2, pp.507-524 | |
| 1991 | 地球環境問題における土木工学の役割とその周辺 | 日本応用地質学会関西支部創立20周年記念論文集, pp.337-339 | 竹内良夫 |
| 1991 | 土木学に向かって | 土木学会誌, Vol.76 No.1, pp.6-9 | |
| 1991 | 21世紀へむけての土木教育/私の考える土木教育/その望ましい姿と弱競争社会の実現 | 土木学会誌, Vol.76 No.4 別冊増刊, p.20 | |
| 1991 | Estimation of loss of life in the catastrophic disasters | Proc. Int. Sym. on Natural Disaster Reduction and Civil Eng., pp.39-48 | |
| 1991 | Sandy beach stabilization, Preservation of Shirarahama beach, Wakayama | Proc. 23rd Coastal Eng. Conf., pp.3426-3439 | Tsuchiya, Y., T Yamashita, T. Shibano, M.Kawasaki, and S.Habara |
| 1992 | 強風時の現地波浪の碎波特性 | 海岸工学論文集, 第39巻, pp.46-50 | 森田達也・鯉江知治・土屋義人 |
| 1992 | 比較津波災害論 | 海岸工学論文集, 第39巻, pp.303-307 | 玉井佐一・松田誠祐・西村正夫・橋本和久 |
| 1992 | 海浜断面の領域区分と相似則 | 海岸工学論文集, 第39巻, pp.326-330 | 西根秀平・内海泰幸・井上雅夫 |
| 1992 | 構造物による海浜変形とそれに伴う海岸決壊-市振海岸を対象として- | 海岸工学論文集, 第39巻, pp.441-445 | 土屋義人・山下隆男・西良一 |
| 1992 | 防災問題における資料解析研究(19) | 京都大学防災研究所年報, 第35号A, pp.211-226 | 村本嘉雄・西上鉄也 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|---|
| 1992 | 移動床水理現象の自動計測制御並びにデータ処理に関する研究 | 京都大学防災研究所年報, 第35号B-2, pp.389-402 | 今本博健・澤井健二・藤田裕一郎・宇民正・芦田和男・高橋保・江頭進治・里深好文・村本嘉雄・藤木繁男・藤原清司・土屋義人・上野鉄男・中川一・山下隆男・石垣泰輔 |
| 1992 | 戦後の風水害の復元(1)－枕崎台風－ | 京都大学防災研究所年報, 第35号B-2, pp.403-432 | 御前雅嗣・岡太郎・土屋義人 |
| 1992 | 都市の災害を斬る－その変わりゆく姿と望ましい防御方法－ | 都市の防災, 第3回, pp.7-32 | |
| 1992 | 1991年バングラデシュの高潮氾濫災害 | 河川災害に関するシンポジウム, pp.47-60 | |
| 1992 | 浪速大津波 | 地震防災フォーラム '92, pp.32-41 | |
| 1992 | Disaster reduction and amenity-oriented function | Proc. Civil Engineering and Urban Development and Renewal, pp.69-72 | |
| 1992 | Effects of the war on flood damages in Hiroshima due to Typhoon 4516 | Proc. 2nd US-Asia Conf. on Eng. for Mitigating Natural Hazards Damage, F04-1-8 | T. Oka and Y. Tsuchiya |
| 1992 | Field observation on sand ripples under rough sea state | Proc. 23rd Coastal Eng. Conf., pp.2164-2175 | T. Shirai and Y. Tsuchiya |
| 1993 | 1992年インドネシア・フローレス島津波の現地調査とその解析 | 海岸工学論文集, 第40巻, pp.181-185 | 今村文彦・松富英夫・都司嘉宣・松山昌史・高橋智幸 |
| 1993 | インドネシア・フローレス島地震による津波の特性とその教訓 | 海岸工学論文集, 第40巻, pp.191-195 | 都司嘉宣・松山昌史・Syamusudin, A. R.・松富英夫・今村文彦・高橋智幸 |
| 1993 | 臨海低平都市における海岸防災論 | 海岸工学論文集, 第40巻, pp.1176-1180 | 服部昌太郎 |
| 1993 | 1992年12月12日インドネシア・フローレス島地震による津波災害の特性とその教訓 | 自然災害科学, Vol.12, No.1, pp.63-71 | 都司嘉宣・松富英夫・今村文彦・松山昌史・高橋智幸 |
| 1993 | 臨海低平大都市域における自然災害制御論－生体防御とのアナロジー | 地域安全学会論文報告集, No.3, pp.10-15 | 篠塚正宣 |
| 1993 | 防災問題における資料解析研究(20) | 京都大学防災研究所年報, 第36号A, pp.47-55 | 村本嘉雄・小泉尚嗣 |
| 1993 | 海岸構造物による海岸侵食とその制御(3)－安定海浜工法による海岸侵食制御の方法論と安定海浜の形成に関する実験－ | 京都大学防災研究所年報, 第36号B-2, pp.385-410 | 土屋義人・山下隆男・松井進 |
| 1993 | 水害常襲地域における災害文化の育成と衰退 | 京都大学防災研究所年報, 第36号B-2, pp.615-643 | 玉井佐一・松田誠祐 |
| 1993 | 1992年インドネシア国フローレス島地震とその津波に関する調査研究 7章 被災者の証言から | 科研費 代表 都司嘉宣(東京大学地震研究所), pp.88-99 | |
| 1993 | 土木工学にスターは必要か | 土木学会誌, Vol.78 No.2, pp.40-42 | |
| 1993 | 1992年インドネシア・フローレス島地震津波 | 月刊海洋, Vol. 25, No.12, pp.735-744 | 都司嘉宣・今村文彦・松富英夫・武尾実・伯野元彦・渋谷純一・松山昌史・高橋智幸 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|---|
| 1993 | 不意打ちの津波来襲時の住民の対応と教訓 | 月刊海洋, Vol. 25, No.12, pp.792-797 | 都司嘉宣・松山昌史・Syamusudin, A. R.・松富英夫・今村文彦・高橋智幸 |
| 1993 | 北海道南西沖地震津波の教訓 | 北海道南西沖地震調査報告会, pp.27-30 | |
| 1993 | 1992年12月12日インドネシア・フローレス島地震津波の調査速報 | 地震学会ニュースレター, Vol.4, No.6, pp.4-8 | 都司嘉宣・今村文彦・松富英夫・渋谷純一・伯野元彦・武尾実・松山昌史・高橋智幸 |
| 1993 | Comparative study on tsunami disasters in Kochi and Sanriku coasts | Proc. of the IUGG/ IOC Int. Tsunami Sym., pp.533-543 | S.Tamai and Y. Matsuda |
| 1993 | Response of residents at the moment of tsunamis-The 1992 Flores island earthquake tsunami, Indonesia | Proc. of the IUGG/ IOC Int. Tsunami Sym., pp.677-688 | Y. Tsuji, A.R. Syamsudin M.Matsuyama, H. Matsutomi, F. Imamura and T. Takahashi |
| 1993 | Reproduction of the ansei-nankaido tsunami in osaka | Proc. of the IUGG/ IOC Int. Tsunami Sym., pp.717-726 | Sakai,T., Y.Tsuchiya, , T.Shimada |
| 1994 | 大井川・駿河海岸系における海岸土砂収支について | 海岸工学論文集, 第41巻, pp.516-520 | 井上雅夫・鹿室宏・珠久和孝 |
| 1994 | 津波の伝播特性に基づく危険度評価について | 海岸工学論文集, 第41巻, pp.1181-1185 | 小池信昭・島田富美男 |
| 1994 | 地震津波警報の伝達と避難マニュアルについて | 海岸工学論文集, 第41巻, pp.1186-1190 | 長谷川茂樹 |
| 1994 | 史資料解析による地球温暖化に伴う海象・気象の変化ー近世から現代までー | 地球環境シンポジウム講義集, 第2回, pp.7-12 | |
| 1994 | バングラデシュ国のサンドウィップ島とハチア島の高潮災害調査 | 自然災害科学, Vol.13, No.2, pp.33-45 | 中川一 |
| 1994 | 都市ウォーターフロントの治水と親水 | 創立80周年国際シンポジウム論文集, pp.61-65 | |
| 1994 | 1992年インドネシア・フローレス島地震津波及び1993年北海道南西沖地震津波の調査 | 京都大学防災研究所年報, 第37号A, pp.145-168 | |
| 1994 | 防災問題における資料解析研究(21) | 京都大学防災研究所年報, 第37号A, pp.169-183 | 田中寅夫・村本嘉雄・高橋保・小泉尚嗣 |
| 1994 | 都市防災システム論 | 京都大学防災研究所年報, 第37号B-2, pp.113-126 | |
| 1994 | 高潮・津波防災 | 水工学に関する夏期研修会講義集 水工学シリーズ, 第30回 B-2, pp.1-21 | |
| 1994 | 漂砂・波浪制御工法と沖合への展開 | 第8回生態系工学テキスト, pp.1-23 | |
| 1994 | 海岸災害とその防災マネージメント | 瀬戸内海研究フォーラム, pp.25-28 | |
| 1994 | Characteristics of urban natural disaster and its scenarios toward catastrophe | Proc. IDNDR Aichi/Nagoya International Conference, United Nations, pp.41-56 | |
| 1995 | 危機管理による津波防災と緊急対応組織論 | 海岸工学論文集, 第42巻, pp.1241-1245 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|--|---------------------------------------|
| 1995 | 中国・温州における高潮氾濫・波浪災害について | 海岸工学論文集, 第42巻, pp.1256-1260 | 中川 一・安田孝志・角野 昇八・間瀬 肇・水谷法美・ 島田広昭 |
| 1995 | 阪神大震災一兵庫県南部地震による被害の概要と その教訓一 | 自然災害科学, Vol.13, No.3, pp.225-234 | |
| 1995 | 地震直後の対応の遅れと危機管理 | 自然災害科学, 阪神・淡路大 震災特集号, pp.7-17 | |
| 1995 | 防災問題における資料解析研究(22) | 京都大学防災研究所年報, 第38号A, pp.123-135 | 林春男・田中寅夫 |
| 1995 | 危機管理と津波避難マニュアル | 京都大学防災研究所年報, 第38号B-2 , pp.157-211 | 小池信昭 |
| 1995 | 都市と巨大災害 | 京大防災研究所公開講座 『阪神・淡路大震災に学ぶ』, 第6回, pp.1-28 | |
| 1995 | 警報伝達と避難マニュアル | 自然災害と地域社会の防災 第9回「大学と科学」公開シン ポジウム組織委員会編, pp.42-53 | |
| 1995 | 都市災害の被災シナリオと人的被害予測 | 阪神・淡路大震災に関する学 術講演会論文集, pp.735- 742 | |
| 1995 | 阪神・淡路大震災と地域防災論一社会ミチゲーショ ンの提案一 | 土木学会誌, Vol.80, No.8, pp.58-61 | |
| 1995 | 船上で感じた海震・トンネル内で見た地震波 | 科学, Vol.16, No.2, pp.70- 71 | |
| 1995 | 危機管理の時系列的展開とその課題(上) | 神戸市消防局広報誌『雪』, No.533, pp.37-41 | |
| 1995 | 危機管理の時系列的展開とその課題(中) | 神戸市消防局広報誌『雪』, No.534, pp.29-35 | |
| 1995 | 危機管理の時系列的展開とその課題(下) | 神戸市消防局広報誌『雪』, No.535, pp.20-27 | |
| 1995 | 減災をめざす危機管理と兵庫モデルの提案 | 都市政策, 第79号, pp.26-34 | |
| 1995 | 自然災害の教訓に学ぶもの | 土と基礎, Vol.43, No.6, pp.5-8 | |
| 1995 | 大規模災害に備えて一地方自治体の危機管理一 | 消防科学と情報, No. 42, pp.12-17 | |
| 1995 | 都市災害研究の見直しと新たな責務 | 月刊消防, 4月号, pp.16-19 | |
| 1995 | 防災技術 | 大阪湾シンポジウム-防災と 環境創造-明日の大阪湾整 備を考える 報告書, pp.103- 106 | |
| 1995 | 日本の気候風土と災害 | 安心の住まい学-もしもの災 害から家族を守る- , pp.10-14 | |
| 1995 | 災害に弱いまちをいかに強くするのか? | MEDIA CITY OSAKA NEWS LETTER, Vol.78 , pp.1-8 | |
| 1995 | Societal implications of great Hanshin-awaji earthquake disaster of January 17, 1995 | Jour. Natural Disas. Sci., Vol.16, No.3, pp.79-88 | Hayashi,H. |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|---|
| 1995 | The great Hanshin-Awaji earthquake disaster, damage, social response, and recovery | Jour. Natural Disas. Sci., Vol.17, No. 2, pp.1-12 | |
| 1995 | Wave breaking under storm condition | Proc. 24th Coastal Eng. Conf., pp.330-339 | |
| 1995 | Response of residents at the moment of tsunamis - the 1992 Flores island earthquake tsunami, Indonesia - | Progress in Prediction, Disaster Prevention and Warning, pp.173-185 | Y. Tsuji, A.R. Syamsudin Sunarjo, M. Matsuyama, H. Matsuyama, H. Matsutomi, F. Imamura and T. Takahashi |
| 1995 | Improvement of earthquake-tsunami warning systems and humanware management | Proc. Sino-US Symposium on Post-Earthquake Rehabilitation and Reconstruction, pp.425-433 | |
| 1995 | Damage to coastal villages due to the 1992 Flores Island earthquake tsunami | Pure and Applied Geophysics, Vol.144, Nos. 3/4, pp.481-524 | Tsuji, Y., H. Matsutomi, F. Imamura, M. Takeo, M. Matsuyama, T. Takahashi, |
| 1996 | 津波の伝播・氾濫特性に基づくハザードマップに関する研究 | 海岸工学論文集, 第43巻, pp.1301-1305 | 小池信昭 |
| 1996 | ウォッシュロードの堆積を考慮した貯水池堆砂の実用計算法について | 水工学論文集, 第40巻, pp.983-988 | 植本実 |
| 1996 | 災害対策基本法と防災基本計画 | 自然災害科学, Vol.15, No.2, pp.81-92 | |
| 1996 | 阪神・淡路大震災で得られた教訓とその総合化-震災から1年10ヶ月経過後の試み | 自然災害科学, Vol.15, No.3, pp.183-193 | |
| 1996 | 都市災害研究の新しい枠組み-巨大災害研究センターの発足- | 地域安全学会論文報告集, pp.337-344 | 林春男 |
| 1996 | 地震時の列車事故に起因する人的被害予測に関する研究 | 地域安全学会論文報告集, pp.463-468 | 古市秀徳・林春男・田中聡 |
| 1996 | 地震時のライフラインの被害想定に関する研究 | 地域安全学会論文報告集, pp.469-472 | 左近嘉正・林春男・田中聡 |
| 1996 | 災害対応の時系列的分析 | 地域安全学会論文報告集, pp.473-478 | 岡靖之・林春男・田中聡 |
| 1996 | 阪神・淡路大震災-防災研究への取り組み-危機管理と総合防災システム | 京都大学防災研究所年報, 第39号A, pp.83-100 | |
| 1996 | 防災問題における資料解析研究(23) | 京都大学防災研究所年報, 第39号A, pp.101-108 | 林春男・田中聡・高橋保 |
| 1996 | 震災復興計画試論-都市環境創造と社会ミティゲーション- | 京都大学防災研究所年報, 第39号B-2, pp.107-115 | |
| 1996 | 情報が生死を分けた-自然災害における情報伝達と避難-/阪神・淡路大震災(1995年) | 土木学会誌, Vol.81 No.7, pp.80-83 | |
| 1996 | 新しい都市防災-危機管理と社会ミティゲーション- | 沿岸域, 第9巻, 第1号, pp.47-52 | |
| 1996 | 巨大災害の減災のために阪神・淡路大震災の教訓を活かす | 河川, No.605, pp.3-6 | |
| 1996 | 環境改善が危機管理の第一歩 | 科学朝日, Vol. 663, pp.111-113 | |
| 1996 | 自然観と海岸侵食 | 水工学に関する夏期研修会講義集, 第32回B-2, pp.1-15 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|----------------------------------|
| 1996 | 土木計画学と防災研究 | 土木計画学シンポジウム 新しい国づくり・街づくりを、めざして、第30回 | |
| 1996 | 広島における高潮と洪水氾濫に関する歴史的研究 | 氾濫原危機管理国際ワークショップ論文集, pp.101-111 | |
| 1996 | Flooding in Sandwip Island in the 1991 storm surge disasters | Jour. Natural Disas. Sci., Vol.15, No.2, pp.151-174 | Nakagawa,H., , K.Inoue, T.Tanino |
| 1996 | Catastrophic urban disasters and their reduction | TECHNO-OCEAN '96, pp.151-156 | |
| 1997 | 重ね合わせの原理に基づく津波数値解析方法 | 海岸工学論文集, 第44巻, pp.271-275 | 小池信昭 |
| 1997 | 環太平洋沿岸域における津波リスクに関する研究 | 海岸工学論文集, 第44巻, pp.341-345 | 小池信昭・井上雅夫・嘉戸重仁 |
| 1997 | 海浜過程に及ぼすダム堆砂の影響ー天竜川水系を対象としてー | 海岸工学論文集, 第44巻, pp.606-610 | 井上雅夫・植本実・丸谷正・石川真紀子 |
| 1997 | 大規模地震災害による人的被害の予測 | 自然災害科学, 第16巻, , 第1号, pp.3-13 | |
| 1997 | EDA手法を用いた人的被害の推定法の開発 | 地域安全学会論文報告集, No.7, pp.52-55 | 福島誠志・林春男・田中聡・西村明儒 |
| 1997 | 東南海・南海地震津波による想定被災シナリオ | 地域安全学会論文報告集, No.7, pp.322-327 | |
| 1997 | 洪水氾濫流の流下特性に関する実証的研究 | 地域安全学会論文報告集, No.7, pp.412-415 | 石井和 |
| 1997 | 津波災害のハザードマップについて | 京都大学防災研究所年報, 第40号B-2, pp.75-92 | 小池信昭 |
| 1997 | 防災問題における資料解析研究(24) | 京都大学防災研究所年報, 第40号A, pp.89-91 | 林春男・田中聡 |
| 1997 | 総被害額の評価方法と社会ミティゲーションの提案 | 阪神・淡路大震災に関する学術講演会論文集, 第2回, pp.561-564 | |
| 1997 | 巨大災害の危機管理と総被害額の算定方法の提案 | 土木学会安全問題討論会'97研究論文集, pp.43-48 | |
| 1997 | 容積率緩和で増大する震災ポテンシャル | 科学, pp.334 | |
| 1997 | 環境砂防のすすめー土砂災害の第二次多発・続発期を迎えてー | 砂防と治水, Vol. 30, No. 4, pp.6-8 | |
| 1997 | 巨大災害対策としてのインフラ整備のあり方 | 安全と管理, 第24号, , 第5号, pp.13-15 | |
| 1997 | 阪神・淡路大震災の教訓をつぎの大災害に活かす | SCOPENET, Vol.7, pp.16-19 | |
| 1997 | 土木学・防災学と都市防災論 | 波となぎさ, 第134号, pp.4-9 | |
| 1997 | 阪神・淡路大震災の教訓の総合化 | 都市問題研究, No.553, pp.14-32 | |
| 1998 | 天龍川・遠州海岸系の海浜過程について | 海岸工学論文集, 第45巻, pp.616-620 | 植本実 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1998 | 基底展開による簡易津波数値解析法 | 海岸工学論文集, 第45巻, pp.341-345 | 小池信昭 |
| 1998 | わが国沿岸部における遠地津波の伝播特性について | 海岸工学論文集, 第45巻, pp.336-340 | 小池信昭・嘉戸重仁・井上雅夫 |
| 1998 | ダム堆砂の支配要因について | 水工学論文集, Vol.42, pp.1027-1032 | 河田 恵昭・植本 実 |
| 1998 | 都市地震防災の展望-阪神・淡路大震災後3年を経過して- | 自然災害科学, Vol.16 No.4, pp.225-237 | |
| 1998 | 私が見つけた5つの教訓 | 自然災害科学, Vol.16 No.4, pp.239-260 | 他Memorial Conference in Kobe III 実行委員 |
| 1998 | 防災のアジア・スタンダード(ASIAN DISASTER STANDARD, ADS)を提案する | 自然災害科学, Vol.17 No.2, pp.91-92 | |
| 1998 | 地震発生時間帯による人的被害の変化 | 地域安全学会論文報告集, No.8, pp.462-467 | 古市秀徳 |
| 1998 | 「防災ピクトグラムシステムの開発(3)」-津波防災への応用 | 地域安全学会論文報告集, No.8, pp.218-225 | 大金義明・林春男・田中聡・吉田治英・井上聡・島英紀・卜部兼慎・出来信久 |
| 1998 | 防災問題における資料解析研究(25) | 京都大学防災研究所年報, 第41号A, pp.63-69 | 田中哮義・林春男・赤松純平・西上欣也・北原昭男・田中聡 |
| 1998 | 社会の防災力の評価に関する一考察-巨大災害による総被害額評価方法への適用- | 京都大学防災研究所年報, 第41号B-2, pp.77-87 | 朴基顕・柄谷友香 |
| 1998 | CG技術による防災情報の効果的表示に関する研究 | 京都大学防災研究所年報, 第41号B-2, pp.89-96 | 小池信昭・上野弘道 |
| 1998 | わが国沿岸部における遠地津波の伝播特性と数値予報の問題点について | 京都大学防災研究所年報, 第41号B-2, pp.383-402 | 小池信昭・井上雅夫・嘉戸重仁 |
| 1998 | 海浜断面の領域区分に関する理論的研究 | 京都大学防災研究所年報, 第41号B-2, pp.403-420 | 木村彰宏 |
| 1998 | 災害に学ぶ | 土木学会誌, Vol.83. No.4 別冊増刊, pp.20-22 | |
| 1998 | 周辺に満ちている大災害の要因-災害列島の処方箋- | 河川レビュー, No.103, pp.4-14 | |
| 1998 | 津波と危機管理 | 河川, No.625, pp.8-13 | |
| 1998 | 津波防災と地域防災計画 | 月刊海洋/号外, No.15, pp.209-214 | |
| 1998 | パプア・ニューギニアの大津波災害について | 平成10年度 防災セミナー, pp.121-126 | |
| 1998 | もし大都市に押し寄せたら? 想像力の欠如が命取りになる | 朝日新聞科学ニュース誌 サイエンス, pp.52-53 | |
| 1998 | 発生が憂慮される広域・都市型津波災害-東南海・南海地震津波災害- | 世界震災都市会議 予稿集, pp.325-332 | |
| 1998 | 沿岸海洋における災害 | 沿岸海洋研究, 第35巻, 第2号, pp.139-145 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|---|--|
| 1998 | Hiroshima as river and storm surge flooding-prone area | Proc. an international workshop on Floodplain Risk Management, pp.107-117 | |
| 1998 | Lessons of emergency management and its philosophy in urban earthquake disaster | Proc. ICOSSAR '97-the 7th International Conf. Structural Safety and Reliability, pp.1595-1601 | |
| 1998 | Estimation of tsunami risk along the Pacific rim | OKUSHIRI TSUNAMI/UJNR WORKSHOP 1998, pp.51-52 | N. Koike |
| 1999 | 津波の市街地への氾濫と地下空間への浸水過程のシミュレーション | 海岸工学論文集, 第46巻, pp.346-350 | 石井和・小池信昭 |
| 1999 | 津波・高潮・洪水氾濫による地下街水害対策の提案 | 海岸工学論文集, 第46巻, pp.356-360 | 石井和 |
| 1999 | 1998年パプアニューギニア津波の陸上での流勢と被害 | 海岸工学論文集, 第46巻, pp.376-380 | 松富英夫・首藤伸夫・都司嘉宣・藤間功司・今村文彦・松山昌史・高橋智幸・牧紀男・韓世燮 |
| 1999 | 1998年パプアニューギニア地震津波の波源に関する考察 | 海岸工学論文集, 第46巻, pp.381-385 | 藤間功司・松富英夫・都司嘉宣・高橋智幸 |
| 1999 | 1998年パプアニューギニア地震津波の現地調査 | 海岸工学論文集, 第46巻, pp.391-395 | 高橋智幸・今村文彦・松富英夫・藤間功司・都司嘉宣・松山昌史 |
| 1999 | 津波常襲地域における住民の防災意識に関するアンケート調査 | 海岸工学論文集, 第46巻, pp.1291-1295 | 柄谷友香・酒井浩一・八代晴実・松本逸子 |
| 1999 | 大規模な人的被害発生に伴う社会的価値の損失の評価 | 土木計画学研究発表会, 第22回, pp.761-764 | 柄谷友香 |
| 1999 | 災害関連学会の連携と21世紀の防災 | 自然災害科学, Vol.18 No.2, pp.135-136 | |
| 1999 | 社会の防災ポテンシャルの評価に関する一考察 | 地域安全学会論文報告集, No.8, pp.10-13 | 柄谷友香 |
| 1999 | トルコと台湾の地震による人的被害に基づく間接被害額の推定 | 地域安全学会論文報告集, No.9, pp.250-253 | 柄谷友香 |
| 1999 | 防災問題における資料解析研究(26) | 京都大学防災研究所年報, 第42号A, pp.25-41 | 田中哮義・林春男・北原昭男・高橋智幸 |
| 1999 | 社会の防災力の評価に関する一考察(II) | 京都大学防災研究所年報, 第42号B-2, pp.1-12 | 柄谷友香 |
| 1999 | 遡上域を含む断面2次元の海浜変形の特性に関する研究 | 京都大学防災研究所年報, 第42号B-2, pp.397-414 | 木村彰宏 |
| 1999 | 1998年パプアニューギニア津波の現地調査 | 河川災害に関するシンポジウム, pp.47-51 | 高橋智幸 |
| 1999 | 防災事業によって安全で安心な国土づくりを進めるために | 土木学会誌, Vol.84 No.5, p.3 | |
| 1999 | ドイツの高速列車事故から学ぶ危機管理-対岸の火事としないために | 土木学会誌, Vol.84 No.7, pp.38-41 | |
| 1999 | アジア地域防災の適正基準 | 土木学会誌, Vol.84 No.9, pp.21-26 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|---|--|
| 1999 | 水循環の新しい秩序と水利改革 | 建設月報, 8月号, No.602, pp.24-25 | |
| 1999 | 都市地下空間が水没する一人がつくる新たな脅威 | 中央公論, 1385号, pp.164-173 | |
| 1999 | Tsunami disaster reduction in Japan and its perspective | Proc. 6th Japan/United States Workshop on Urban Earthquake Hazard Reduction, pp.127-130 | |
| 2000 | 市街地氾濫時の地下空間浸水過程と被害軽減 | 海岸工学論文集, 第47巻, pp.250-254 | 後藤隆一 |
| 2000 | 1999年バヌアツ地震津波とその特徴・課題 | 海岸工学論文集, 第47巻, pp.336-340 | 松富英夫・越村俊一・高橋智幸・Andrew Moore・今村文彦・松山昌史 |
| 2000 | 大規模な人命の損失に伴う社会的価値の損失の評価 | 土木計画学研究・論文集, No.17, pp.393-400 | 柄谷友香 |
| 2000 | 直下型地震に続く津波・洪水による複合水災害時の被災シナリオとその軽減 | 地域安全学会論文集, No.2, pp.39-47 | 斎藤貴裕・工藤徳人・成田和人・村上斉・那須清貴・殿最浩司・手皮章夫・徳田幸司 |
| 2000 | 神戸市社会統計を利用した阪神・淡路大震災後の生活再建指標(R1)の提案 | 地域安全学会論文集, No.2, pp.213-222 | 柄谷友香・林春男・ |
| 2000 | チリ津波40周年 一何をもたらし, 何がかわったか? - 6. 環太平洋での津波リスク評価の重要性 | 日本自然災害, Vol.19, No.3, pp.294-297 | 河田恵昭 小池信昭 |
| 2000 | 防災問題における資料解析研究(27) | 京都大学防災研究所年報, 第43号A, pp.109-132 | 田中哮義・林春男・北原昭男・高橋智幸 |
| 2000 | 社会の防災力の評価に関する一考察(III)-社会生態学の提唱- | 京都大学防災研究所年報, 第43号B-2, pp.1-12 | 柄谷友香 |
| 2000 | 平面波浪場の3次元海浜変形の特性に関する研究 | 京都大学防災研究所年報, 第43号B-2, pp.377-395 | 木村彰宏 |
| 2000 | 海岸計画と調査 | 水工学に関する夏期研修会講義集, 第36回B2, pp.1-22 | |
| 2000 | 2.われわれは何を学んだか(5)震災直後の対応および情報の問題点 | 土木学会誌, Vol.85 No.1, pp.38-39 | |
| 2000 | 防災に活用されるリアルタイムモニタリングの現状と展望 | 地質と調査, Vol.84, pp.2-8 | |
| 2000 | 巨大津波・高潮に備えて | 環境技術, Vol.29, No.8, pp.12-17 | |
| 2000 | バブアニューギニアの津波災害 | 国際建設防災, No.9, pp.45-53 | |
| 2000 | 地域の「防災力」を高める | 農, Vol.19, No.9, pp.16-18 | |
| 2000 | 津波発生のメカニズムと研究の現状 | 高圧ガス, Vol.37, No.5, pp.425-432 | |
| 2000 | 社会生態学的都市防災論 | CEL, No.53, pp.55-57 | |
| 2000 | 危機管理体制のあり方 | 第39回 火災科学セミナーテキスト, pp.1-9 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|-----------------------------|
| 2000 | 都市水害に備える～高潮・津波・洪水への危機管理～ | 海岸, Vol.40, No.2, pp.49-53 | |
| 2000 | 「減災の観点」の必要な地下空間水没対策 | 雨水技術資料, Vol.37, p.1 | |
| 2000 | Appropriate standards for regional disaster prevention in Asia | Civil Engineering, Vol.38, pp.10-17 | |
| 2000 | Far-field tsunami potential along Japanese coastal region | Proc. 8th International Symposium on Natural and Technological Hazards, pp.45-46 | Koike,N. |
| 2000 | Improvement of disaster information related in urban flooding and geo-hazard | Proc. 8th International Symposium on Natural and Technological Hazards, pp.132-133 | |
| 2000 | Theoretical study on beach processes in horizontally two dimensional wave field | Proc. 8th International Symposium on Natural and Technological Hazards, pp.145-146 | A.Kimura |
| 2000 | The damage potential of the inland sea of japan by the nankai and tonankai earthquake tsunamis | Proc. 8th International Symposium on Natural and Technological Hazards, p.147 | Takahashi, T.,M.Sasaki. |
| 2000 | Theoretical study on beach profile evolution including swash zone | Proc. 25th Coastal Eng. Conf., pp.2536-2546 | A. Kimura |
| 2001 | 洪水氾濫災害を教訓とした新しい高潮・津波防災 | 海岸工学論文集, 第48巻, pp.1361-1365 | |
| 2001 | 地下空間の浸水シミュレーションとその減災対策 | 海岸工学論文集, 第48巻, pp.1371-1375 | 後藤隆一・高橋智幸 |
| 2001 | 防災問題における資料解析研究(28) | 京都大学防災研究所年報, 第44号A, pp.81-96 | 田中哮義・林春男・高橋智幸・柄谷友香 |
| 2001 | 比較防災学の適用(1)―都市震災と都市水害の危機管理― | 比較防災学ワークショップ Proceedings, 第1回, pp.1-9 | |
| 2001 | 危機管理からみた最近の水災害の情報課題 | 波となぎさ, No.148, pp.3-5 | |
| 2001 | 防災と自己責任 | 波となぎさ, No.149, pp.10-11 | |
| 2001 | 危機管理体制のあり方 | セフテイ, 13号, pp.3-9 | |
| 2001 | Acceptable risk and loss reduction of natural disasters in the Asain region | Proc. 2nd Civil engineering Conf., pp.195-205 | |
| 2001 | Flow strength on land and damage of the 1998 Papua New Guinea tsunami | Advances in Natural and Technological Hazards Research, Vol.18, pp.179-195 | Matsutomi, H., et al |
| 2001 | Development of socioeconomic recovery index based on Kobe statistics to monitor the recovery from the 1995 Kobe earthquake | Disaster Resistant California, The Governor's Office of Emergency Services and The Collaborative for Disaster Mitigation, pp.27-38 | Karatani, Y. and H. Hayashi |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---------------------------------------|--------------------------|
| 2001 | 危機管理体制のあり方と消防への応用 | ほのお, 1号, pp.4-7 | |
| 2001 | 災害動乱期を生き抜く防災戦略 | 晨, Vol20, No.1, pp.23-25 | |
| 2001 | 巨大災害の様相とその対応対策の考え方 | 地学雑誌, Vol.110, No.6, pp.924-930 | |
| 2002 | 海底横ずれ断層での津波ポテンシャルについて | 海岸工学論文集, 第49巻, pp.261-265 | 韓世燮・岡村 真・松岡裕美 |
| 2002 | 南海地震津波による水産被害の評価手法の開発 | 海岸工学論文集, 第49巻, pp.301-305 | 佐々木基充・高橋智幸・鈴木進吾 |
| 2002 | 1955~1998年の60台風客観解析データを用いた高潮ハザードの算出 | 海岸工学論文集, 第49巻, pp.1426-1430 | 松田真盛・永田茂 |
| 2002 | 津波の市街地氾濫による人的被害に関する一評価法 -米国シアトル・ウォーターフロントにおけるケーススタディ | 海岸工学論文集, 第49巻, pp.1441-1445 | 越村俊一・Harold Mofjeld・片田敏孝 |
| 2002 | 東海豪雨災害を事例とした災害廃棄物に対する住民の意識調査 | 河川技術論文集, 第8巻, pp.173-178 | 上田征香・柄谷友香 |
| 2002 | 2000年東海豪雨とその災害 | 自然災害科学, Vol.21, No.1, pp.8-14 | |
| 2002 | 設立20周年を迎えて | 自然災害科学, 20周年記念特別号, p.9 | |
| 2002 | 防災問題における資料解析研究(29) | 京都大学防災研究所年報, 第45号A, pp.65-83 | 田中哮義・林春男・高橋智幸・柄谷友香・川方裕則 |
| 2002 | 複合水災害における被害発生過程に関する研究 | 京都大学防災研究所年報, 第45号B-2, pp.785-802 | 後藤隆一 |
| 2002 | ニューヨーク同時テロ事件の対応と教訓 | 京都大学防災研究所公開講座(13回) 都市の発展と防災, pp.47-55 | |
| 2002 | 危機管理としての海岸防災 | 土木学会水工学シリーズ, 02-B-1, pp.1-14 | |
| 2002 | 21世紀の海岸防災を考える | 海岸, 42-1, pp.1-4 | |
| 2002 | スーパー広域災害に対処できるのか | 月刊建設, 9月号, pp.2-3 | |
| 2002 | 災害国日本とその防災課題 | 消防防災, 秋号, pp.44-53 | |
| 2002 | 大都市災害に備えた体制づくりを考える | 電気協会報, No.934, pp.8-12 | |
| 2002 | 津波の想定 | 建築防災, No.296, pp.21-30 | |
| 2002 | 日本が直面する最大の危機 スーパー広域災害への備えを急げ! | ガバナンス, 9月号(No.17), pp.26-29 | |
| 2002 | 大規模な人命の損失に伴う間接被害の定量的評価 | 比較防災学ワークショップ Proceedings, 第2回, pp.1-7 | 柄谷友香 |
| 2002 | 危機管理・減災と自治体 | 都市問題, 93-2, pp.3-17 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|------------------------------------|
| 2002 | 東海豪雨災害と新たな防災課題 | 天気, Vol.49, No.8, pp.40-46 | |
| 2002 | 世界の防災の動向 | 国際建設防災, No.12, pp.1-7 | |
| 2002 | 東海・南海地震 | Newton, No.6, pp.34-43 | |
| 2002 | New approach to disaster reduction systems in urban flooding | The 2nd Workshop on the Development of Integrated Disaster Reduction System on Compound Urban Floodings, pp.96-108 | |
| 2003 | アスペリティに起因する南海地震津波の波源不均一性に関する研究 | 海岸工学論文集, 第50巻, pp.306-310 | 奥村与志弘・高橋智幸・鈴木進吾 |
| 2003 | 東海・東南海・南海地震の発生特性による広域津波の変化 | 海岸工学論文集, 第50巻, pp.326-330 | 鈴木進吾・高橋智幸 |
| 2003 | 高潮防災へのリスクマネジメント手法の適用 | 海岸工学論文集, 第50巻, pp.1326-1330 | 松田真盛・永田茂 |
| 2003 | 市街地氾濫災害が被災住民の日常生活に与えたインパクトに関する分析 | 水工学論文集, 第47巻, pp.355-360 | 後藤隆一 |
| 2003 | 災害対応演習システムの開発に向けたシナリオ構築 | 地震工学論文集, Vol.27, pp.1-8 | 秦康範・坂本朗一 |
| 2003 | 21世紀COEプログラムへの挑戦～激動する災害環境と巨大災害～ | 京都大学防災研究所年報, 第46巻A, pp.65-72 | |
| 2003 | 防災問題における資料解析研究(30) | 京都大学防災研究所年報, 第46巻A, pp.89-106 | 田中哮義・林春男・矢守克也・高橋智幸・川方裕則 |
| 2003 | 我が国の地下街浸水事例とその対策(1) | 京都大学防災研究所年報, 第46巻B, pp.919-928 | 後藤隆一・松尾一郎 |
| 2003 | 第3章 迫り来る巨大地震に備える 3-4 津波災害とその対策 | 土木学会誌, Vol.88, No.9, pp.36-41 | |
| 2003 | 東海地震の防災対策の諸問題 | 月刊地球, 号外No.41, pp.158-165 | |
| 2003 | 港湾に求められる危機管理体制と防災 | 港湾, Vol.80, pp.20-22 | |
| 2003 | 地震災害が予測される危険地域の対策指針 | 市政, No.606, pp.22-33 | |
| 2003 | 沿岸域と防災 | 沿岸域, Vol.16, No.1, pp.21-22 | |
| 2003 | スーパー広域災害に備えて危機管理体制を急げ | 月刊経済トレンド, Vo.51, No.9, pp.22-23 | |
| 2003 | 比較防災学の適用(2)ー減災に必要な首都圏自治体の連携ー | 比較防災学ワークショップ Proceedings, 第3回, pp.1-7 | |
| 2003 | Far-field tsunami potential and a real-time forecast system for the Pacific using the inversion method | Natural Hazards, 29, pp.423-436 | Koike, N., and F. Imamura |
| 2003 | Development of socioeconomic rehabilitation index based on kobe statistics to monitor the recovery from the 1995 kobe earthquake | 3rd US/JAPAN on Urban Earthquake Disaster Mitigation, pp.504-515 | Kawata.Y.,H.Hayashi and Y.Karatani |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|--|---|
| 2004 | エッジ波の発生を考慮した津波予警報の改良に関する研究 | 海岸工学論文集, 第51巻, pp.261-265 | 奥村与志弘・越村俊一・藤間功司・永井紀彦 |
| 2004 | 津波による船舶被害の評価手法の提案 | 海岸工学論文集, 第51巻, pp.316-320 | 新名恭仁・原田賢治・鈴木進吾 |
| 2004 | 2003年十勝沖地震時における漁民の避難行動に関する実態調査 | 海岸工学論文集, 第51巻, pp.1301-1305 | 田中亮平・井上雅夫・原田賢治・高橋智幸 |
| 2004 | 防災対策の不確定性を考慮した津波減災効果の評価手法 | 海岸工学論文集, 第51巻, pp.1311-1315 | 鈴木進吾・越村俊一 |
| 2004 | 大規模地下街の浸水対策の現状と課題 | 水工学論文集, 第48巻, pp.445-450 | 後藤隆一・松尾一郎 |
| 2004 | 東南海・南海地震津波対策に向けての広域連携情報ネットワークの提案 | 地域安全学会論文集, No.6, pp.139-148 | 越村俊一・鈴木進吾・大利桂子・村田行泰・寺田幸博・加藤照之・今村文彦 |
| 2004 | 災害対応演習システムの開発 | 地域安全学会論文集, No.6, pp.367-372 | 秦康範・坂本朗一・高梨成子 |
| 2004 | 十勝沖地震・津波災害 | 京都大学防災研究所年報, 第47号A, pp.81-89 | |
| 2004 | 防災問題における資料解析研究(31) | 京都大学防災研究所年報, 第47号A, pp.113-133 | 田中哮義・林春男・矢守克也・川方裕則 |
| 2004 | 津波・高潮対策の課題 | 波となぎさ, 159, pp.2-3 | |
| 2004 | 激化する都市水害の課題と対策 | 季刊 河川レビュー, Vol.33, No.128, pp.4-11 | |
| 2004 | 風水害による都市災害対策とその課題 | 新都市, 第58巻, 第1号, pp.10-21 | |
| 2004 | ますます災害にもろくなっていく都市の被害を減らす | 文部科学時報, No.1539, pp.32-33 | |
| 2004 | 発生が懸念されるスーパー広域地震災害 | 学会会報, No.847, pp.44-50 | |
| 2004 | 高潮・津波ハザードマップ | ベース設計資料, 122, pp.41-44 | |
| 2004 | 大規模地震・津波への備え | 港湾, Vol.81, pp.8-13 | |
| 2004 | 南海(東南海)地震と災害 | けいさつの友, 441号, pp.2-11 | |
| 2004 | 災害をきちんと調査・分析することが重要 | PORTAL, 40号, pp.8-9 | |
| 2004 | 巨大地震に備える～東海, 東南海, 南海地震を想定して | 月刊民放, pp.5-11 | |
| 2004 | 阪神・淡路大震災の教訓は来るべき東海・東南海・南海地震災害に適用できるか | 比較防災学ワークショップ Proceedings, 第4回, pp.1-11 | |
| 2004 | Disaster assessment of giant tsunamis along the Nankai trough | The 13th Proc. of the World Conf. on Earthquake Engineering, CDROM | T.Takahashi, S.Koshimura, N.Koike, Y.Karatani, S.Suzuki and Y.Okumura |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|--|
| 2004 | Review of emergency management and disaster reduction in local government level in Japan | Urban Earthquake Disaster Process Modeling and Real Loss Estimation , pp.17-26 | |
| 2004 | Development of socioeconomic recovery index based on Kobe statistics to monitor the recovery from the 1995 Kobe earthquake | Urban Earthquake Disaster Process Modeling and Real Loss Estimation , pp.27-38 | Karatani,Y., and H.Hayashi |
| 2004 | Tsunami run-up heights of the 2003 Tokachi-oki earthquake | Earth Planets Space, 56, pp.359-365 | Tanioka Y., Y.Nishimura, F.Imamura, K.Harada, et al |
| 2004 | Building an integrated database system of information on disaster hazard, risk,and recovery process | 京都大学防災研究所年報, 第47号C , pp.89-92 | Kawakata,H., H.Hayashi, T.Tanaka, K.C.Topping, K.Yamori, P.Yoshitomi, G.Urakawa, and T.Kugai |
| 2004 | Study on the effect of coastal forest to Tsunami Reduction | 京都大学防災研究所年報, 第47号C , pp.273-277 | Harada,K. |
| 2004 | Development of cross-media database for sharing disaster information | 京都大学防災研究所年報, 第47号C , pp.331-335 | Kugai, T. and H. Hayashi |
| 2005 | 津波減衰効果を目的とした海岸林活用条件の検討 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.276-280 | 原田賢治・ |
| 2005 | アスペリティ分布が来襲津波の地域特性に及ぼす影響に関する研究 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.286-290 | 奥村与志弘・越村俊一 |
| 2005 | 下新川海岸における海浜安定化工法の適用性に関する実験的研究 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.636-640 | 金澤裕勝・笹倉伸男・中山真二・福濱方哉・山本幸次・橋本新・辺見聡 |
| 2005 | 南海地震津波に対する避難トリガーに特化した地域防災力向上に資する研究 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.1261-1265 | 河野哲彦・城下英行・後藤隆一 |
| 2005 | 大阪湾臨海都市域の津波脆弱性と防災対策効果の評価 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.1276-1280 | 鈴木進吾・越村俊一 |
| 2005 | 2004年紀伊半島沖地震津波に関する現地調査と防災上の課題 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.1336-1340 | 小池信昭・越村俊一・高橋智幸・今村文彦・原田賢治・藤間功司・嶋原良典・谷岡勇市郎・西村裕一・加藤照之・寺田幸博・鈴木進吾・奥村与志弘 |
| 2005 | インド洋大津波のスリランカ南西部における津波実態・被害調査報告 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.1406-1410 | 富田孝史・有川太郎・安田誠宏・今村文彦 |
| 2005 | インド洋における巨大地震津波災害ポテンシャルの評価 | 海岸工学論文集, 第52巻, pp.1416-1420 | 越村俊一・高島正典・鈴木進吾・林春男・今村文彦 |
| 2005 | 2004年7月新潟豪雨水害の災害調査による家屋被害関数の構築 | 水工学論文集, Vol.49, pp.439-444 | 鈴木進吾・越村俊一・原田賢治・岡本学・福留邦洋・菅磨志保 |
| 2005 | 2004年7月新潟豪雨水害の洪水氾濫による家屋被害 | 河川技術論文集, Vol.11, pp.139-144 | 原田賢治・越村俊一・鈴木進吾・岡本学・福留邦洋・菅磨志保 |
| 2005 | 水害時における行政の初動対応からみた災害廃棄物発生量の推定手法に関する研究 | 環境システム研究論文集, 第33号, pp.29-36 | 平山修久 |
| 2005 | WebGISベースの洪水ハザードマップの作成とその普及に関する研究 | 自然災害科学, Vol.23, No.4, pp.539-552 | 金慶姫・川方裕則・後藤隆一 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|-----------------------------|
| 2005 | 地震時の行政機関の初動対応業務に関する調査研究 | 災害情報, 第2号, pp.50-59 | 越山健治・秦康範・福留邦洋・菅磨志保 |
| 2005 | 水害時の行政対応における災害廃棄物発生量に関する研究 | 地域安全学会論文集, No.7, pp.325-330 | 平松修久 |
| 2005 | 地域防災計画にみる防災行政の課題 | 地域安全学会論文集, No.7, pp.395-404 | 永松伸吾・林春男 |
| 2005 | 2004年紀伊半島沖地震津波による住民避難行動について:和歌山南部におけるヒアリング調査 | 津波工学研究報告, 22, pp.45-57 | 原田賢治・河野哲彦・岡本学・城下英行 |
| 2005 | インド洋津波災害とスリランカ現地調査報告 | 津波工学研究報告, 22, pp.93-102 | 今村文彦・富田孝史・有川太郎・安田誠宏 |
| 2005 | 水害時における災害廃棄物発生量推定式に関する研究 | 環境衛生工学研究, 19巻, 第3号, pp.193-196 | 平山修久 |
| 2005 | スマトラ沖地震津波災害 | 京都大学防災研究所年報, 48号A, pp.203-213 | |
| 2005 | 防災問題における資料解析研究(32) | 京都大学防災研究所年報, 48号A, pp.215-224 | 田中哮義・林春男・矢守克也・川方裕則 |
| 2005 | 防災研究所の課題「減災学の確立」 | DPRI Newsletter, No.36, pp.1-2 | |
| 2005 | 2003年十勝沖地震の津波遡上高調査および大津漁港での津波数値計算 | 月刊 地球, 号外 No.49, pp.128-136 | 谷岡勇市郎・今村文彦・原田賢治・深澤良信・越村俊一ほか |
| 2005 | 「減災」によるこれからの地域防災 | 21世紀ひょうご, Vol.92, pp.21-35 | |
| 2005 | 災害文化を創る～巨大災害へ負けない日本社会へ～ | AESTO NEWS, No.7, p.1 | |
| 2005 | 今こそ経営戦略をもて | CE 建設業界, Vol.54, pp.30-31 | |
| 2005 | 阪神・淡路大震災から10年～近年の災害特性と総合減災システムの視点～ | JRガゼット, Vol.214 | |
| 2005 | これまでの防災から減災の視点へ | Labor Research Library, 3号, pp.3-6 | |
| 2005 | “想定外”の大地震 | Newton, 25巻3号, pp.26-51 | |
| 2005 | 地球大洪水時代 想定外の大地震津波は瀬戸内海にもやってくる | Newton, 2005, pp.74-97 | |
| 2005 | 減災への視点 | Re 2005.7 Building Maintenance & , No.147, pp.5-10Management | |
| 2005 | 2004年の災害の特徴と減災戦略 | 河川, No.703, pp.3-6 | |
| 2005 | 今後のわが国の津波対策の視点 | 河川, No.708, pp.3-5 | |
| 2005 | 防災学を身につける | 建設マネジメント技術, 8月号, pp.1-3 | |
| 2005 | 津波の被害をいかにして減らすか | 土木施工, Vol.46, No.8, pp.2-4 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|---|
| 2005 | 「災害列島」日本と減災戦略 | 公園緑地, Vol.66, No.4, pp.8-11 | |
| 2005 | 今後のわが国の津波防災の道筋 | 港湾, Vol.82, pp.6-10 | |
| 2005 | 東南海・南海地震・津波災害の対策とその課題 | 高压ガス, Vol.42, No.2, pp.14-19 | |
| 2005 | 人と防災未来センターと国際防災への取り組み | 消防科学と情報, No.79, pp.57-62 | |
| 2005 | 巨大地震とその対策(上)～東南海・南海・東海地震に備えて～ | 大阪消防, Vol.56, No.2, pp.32-35 | |
| 2005 | 巨大地震とその対策(下)～東南海・南海・東海地震に備えて～ | 大阪消防, Vol.56, No.3, pp.34-36 | |
| 2005 | 高齢化した成熟社会における災害の予知・予測技術 | 地質と調査, 3号, p.1 | |
| 2005 | 震災と市町村の危機管理-減災社会に向けて- | 地方議会人, 36巻7号, pp.17-20 | |
| 2005 | 広域的な防災体制強化の取り組み | 伝えよう1.17の教訓-創造的復興から未来へ-, pp.225-231 | |
| 2005 | 東南海・南海地震に備えて | 電力土木, 316号, pp.3-9 | |
| 2005 | スマトラ地震による甚大な津波被害(インド洋大津波)三陸津波以来のわが国の津波防災対策への期待 | 土木学会誌, Vol.90, pp.5-10 | 今村文彦・越村俊一 |
| 2005 | 巨大災害に備える | 土木学会誌, Vol.90, pp.14-15 | |
| 2005 | 津波情報はどう受けとられたか | 比較防災学ワークショップ Proceedings, 第5回, pp.51-55 | |
| 2005 | Study on tsunami reduction effect of coastal forest due to forest growth | 1st Int. Conf. of Urban Disaster Reduction, CDROM | Harada, K. |
| 2005 | A probabilistic method for evaluation of tsunami disaster reduction systems | 1st Int. Conf. of Urban Disaster Reduction, CDROM | S. Suzuki and S. Koshimura |
| 2005 | On an accuracy of the numerical model of tsunami propagation to predict edge waves trapped on a continental shelf | 1st Int. Conf. of Urban Disaster Reduction, CDROM | Y. Okumura, S. Koshimura and K. Fujima |
| 2005 | Building a cooperative network for disaster management of the next To-Nankai and Nankai earthquake Tsunami | 1st Int. Conf. of Urban Disaster Reduction, CDROM | Koshimura, S., S. Suzuki, Y. Murata, Y. Terada, T. Kato, and F. Imamura |
| 2005 | Field survey of the 2003 Tokachi-oki earthquake tsunami and simulation at the Ootsu harbor located at the pacific coast of Hokkaido, Japan | Tsunami: Case Studies and Recent Developments, pp.135-156 | Tanioka Y., Y.Nishimura, F.Imamura, K.Harada, K.Satake, et al |
| 2005 | Technology of tsunami disaster reduction | Proc. of Tsunami Disaster Reduction in Urban Area, pp.3-8 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|----------------------------------|---|
| 2005 | Building an integrated database system of information on disaster hazard, risk, and recovery process -cross-media database (2) | 京都大学防災研究所年報, 48号C, pp.53-60 | Kawakata, H., P. Yoshitomi, G. Urakawa, K. Chan, H. Matsuura, K. Yatsumi, T. Hara, M. Agusa, H. Hayashi |
| 2005 | Study on tsunami reduction effect of coastal forest due to forest growth | 京都大学防災研究所年報, 48号C, pp.161-165 | Harada, K. |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 1年間の連載に当たって | 積算資料, 4月号, pp.10-13 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 阪神・淡路大震災 | 積算資料, 5月号, pp.26-30 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 新潟県中越地震 | 積算資料, 6月号, pp.20-23 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 東海・東南海・南海地震と首都直下型地震の発生の恐れ | 積算資料, 7月号, pp.8-12 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 新潟・福井集中豪雨災害 | 積算資料, 8月号, pp.16-19 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 台風災害(1) | 積算資料, 9月号, pp.25-28 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 台風災害(2)と水害ゴミ | 積算資料, 10月号, pp.15-18 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 雲仙・普賢岳, 有珠山, 三宅島・雄山の噴火災害 | 積算資料, 11月号, pp.24-27 | |
| 2005 | 変貌する災害の防災・減災学 富士山は噴火するのか | 積算資料, 12月号, pp.25-28 | |
| 2006 | 変貌する災害の防災・減災学 津波災害 | 積算資料, 1月号, pp.12-15 | |
| 2006 | 変貌する災害の防災・減災学 情報複合災害となったハリケーン「カトリーナ」災害 | 積算資料, 2月号, pp.13-16 | |
| 2006 | 変貌する災害の防災・減災学 平成の豪雪災害 | 積算資料, 3月号, pp.27-28 | |
| 2006 | 変貌する災害の防災・減災学 減災戦略 | 積算資料, 4月号, pp.13-16 | |
| 2006 | 津波発生に及ぼす断層破壊の動的特性の影響 | 海岸工学論文集, 第53巻, pp.291-295 | 奥村与志弘・越村俊一 |
| 2006 | PCクラスタを用いたリアルタイム津波予測手法の開発とその活用に関する研究 | 海岸工学論文集, 第53巻, pp.1331-1335 | 鈴木進吾・越村俊一 |
| 2006 | 大規模災害時における遺体の処理・埋火葬に関する研究 | 自然災害科学, Vol.24, No.4, pp.447-471 | 船木伸江・矢守克也・川方裕則・三柳健一 |
| 2006 | 大規模災害時における都道府県の広域支援に関する研究-新潟県中越地震の事例から- | 自然災害科学, Vol.25, No.3, pp.329-349 | 船木伸江・矢守克也 |
| 2006 | 南海地震60年 | 自然災害科学, Vol.25, No.3, pp.375-379 | |
| 2006 | 2006年2月フィリピン・レイテ島地滑り災害における社会的対応の特徴 | 自然災害科学, Vol.25, No.4, pp.99-112 | 矢守克也・横松宗太・奥村与志弘・城下英行 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|---|
| 2006 | 新潟県中越地震における県災害対策本部のマネジメントと状況認識の統一に関する研究－「目標による管理」の視点からの分析－ | 地域安全学会論文集, No.8, pp.183-190 | 近藤民代・越山健治・林春男・福留邦洋 |
| 2006 | ハリケーン「カトリーナ」災害に対する米国の危機対応 | 地域安全学会論文集, No.8, pp.225-234 | 林春男・牧紀男・Bruce P. Baird・田村圭子・重川希志依・田中聡・岩崎敬・原口義座・永松伸吾 |
| 2006 | 災害時応急復旧過程における上水道のクライシスコミュニケーションのあり方に関する一考察 | 環境衛生工学研究, Vol.20 No.3, pp.35-38 | 平山修久・越山健治・伊藤禎彦 |
| 2006 | 災害時における避難情報提供のあり方に関する一考察 | 日本災害情報学会学会大会研究発表予稿集, 第8回, pp.49-54 | 平山修久・越山健治 |
| 2006 | 災害時における上水道のクライシスコミュニケーションのあり方に関する研究 | 日本リスク研究学会研究発表会講演論文集, 第19回, pp.43-48 | 平山修久・越山健治・伊藤禎彦 |
| 2006 | 防災問題における資料解析研究(33) | 京都大学防災研究所年報, 49号A, p.41 | 林春男・矢守克也・牧紀男・川方裕則 |
| 2006 | ハリケーン「カトリーナ」による広域災害に対する社会対応 | 京都大学防災研究所年報, 49号A, pp.9-22 | 林春男・牧紀男・Bruce P. Baird・田村圭子・重川希志依・田中聡・岩崎敬・原口義座・永松伸吾 |
| 2006 | 「減災」と地域防災 | 減災, Vol.1, pp.12-24 | |
| 2006 | 都市地震災害過程のモデル化と総合的な損失の定量化 | 2005第19回「大学と科学」公開シンポジウム講演収録集 ここまで進んだ日米の都市地震防災, pp.120-132 | |
| 2006 | 環境の悪化が災害を招く～わが国の反省と東南アジアを事例として～ | 京都大学防災研究所公開講座(17回) 防災研究最前線, pp.25-32 | |
| 2006 | ハリケーン「カトリーナ」による広域災害に対する社会対応 | 比較防災学ワークショップ Procedeings, 第6回, pp.1-12 | 林春男・牧紀男・B,P. Baird・田村圭子・重川希志依・田中聡・岩崎敬・原口義座・永松伸吾 |
| 2006 | どのように災害は起きたのか～情報複合災害の発生～ | 比較防災学ワークショップ Procedeings, 第6回, pp.39-42 | |
| 2006 | カトリーナ災害におけるJFO(Joint Field Office)の対応 | 比較防災学ワークショップ Procedeings, 第6回, pp.43-47 | 田中聡・林春男・牧紀男・西川智・田辺康彦・丸山直紀・藤山秀章・永松伸吾 |
| 2006 | 東南海・南海地震による津波災害と防災 | 平成18年度秋季大会 講演論文集, pp.3-7 | |
| 2006 | ハリケーン「カトリーナ」を契機として発生した広域災害に対する社会対応に関する総合的な検討 | 自然災害科学総合シンポジウム, 第43回, pp.43-53 | 林春男・牧紀男・Bruce P. Baird・田村圭子・重川希志依・田中聡・岩崎敬・原口義座・永松伸吾 |
| 2006 | ハリケーン・カトリーナ災害 | 第33回 海洋工学パネル, pp.58-62 | |
| 2006 | リアルタイム津波情報システム活用方策の検討 | 日本災害情報学会第8回研究発表講演会予稿集, pp.336-1370 | 越山健治・越村俊一・原田賢治・鈴木進吾 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|--|---|
| 2006 | スマトラ沖地震津波災害-スリランカ- | 月刊地球 -スマトラ島沖地震津波とインド洋津波/2004-, 56号, pp.179-186 | |
| 2006 | 想定される日本の大地震 | Newton ムック, 別冊, pp.42-107 | |
| 2006 | 減災と極端現象 | AESTO News, No.9, pp.4-5 | |
| 2006 | 最近の自然災害と電気事業の役割 | 電気協同研究, 第61巻,4号 | |
| 2006 | 南海トラフの地震を想定した自治体による地震減災の取り組み | SEISMO, 第10巻, 第1号, pp.6-7 | |
| 2006 | 大震災発生!減災学から見た電力・ガス・石油業界の「盲点」 | エネルギーフォーラム, No.621, pp.80-83 | |
| 2006 | インド洋大津波被害と今後のわが国の津波対策について | 雑誌 防災, 117, pp.26-37 | |
| 2006 | 最近の自然災害と企業防災 | 科学と工業, 第80巻, 第1号, pp.3-8 | |
| 2006 | 巨大地震災害の発生を目前に控えて～新しい地震防災研究～ | 地震ジャーナル, 42, pp.10-17 | |
| 2006 | 東南海・南海地震 | 文部科学時報, No.1561, pp.10-11 | |
| 2006 | 東南海・南海地震に備えて | 和歌山医学, Vol.57, No.4, pp.148-151 | |
| 2006 | キーワード事典, 社会生活「スマトラ沖地震 防災」 | 最新キーワード事典 イミダス, 2006, pp.554-558 | |
| 2006 | A method for estimating casualties due to the tsunami inundation flow | Natural Hazards, 39, pp.265-274 | Koshimura, S., T. Katada, H. O. Mofjeld |
| 2006 | Building an integrated database system of information on disaster hazard, risk, and recovery process -cross-media database (3) | 京都大学防災研究所年報, 49号C, pp.69-74 | Kawakata, H., P. Yoshitomi, G. Urakawa, K. Chan, H. Matsuura, K. Tatsumi, T. Hara, M. Agusa, H. Hayashi |
| 2006 | Disaster Reduction and Development in Developing Country | Economics and Disasters, pp.5-8 | . |
| 2007 | 東南海・南海地震発生時の港湾機能を活用した緊急輸送戦略 | 海岸工学論文集, 第54巻, pp.1326-1330 | 小鯛航太・鈴木進吾 |
| 2007 | 要援護者対策も含めた総合的な津波避難対策の戦略計画の検討 | 海岸工学論文集, 第54巻, pp.1366-1370 | 原田賢治・田村圭子・山崎栄一・林春男 |
| 2007 | 広域災害時における災害廃棄物処理の広域連携方策に関する研究 | 土木学会論文集G, Vol.63, No.22222, pp.112-119 | 平山修久 |
| 2007 | 学習指導要領の変遷過程に見る防災教育展開の課題 | 自然災害科学, Vol.26, No.2, pp.63-176 | 城下英行 |
| 2007 | 2007年4月ソロモン諸島地震・津波災害とその対応の社会的側面 | 自然災害科学, Vol.26, No.2, pp.203-214 | 鈴木進吾・牧紀男・古澤拓郎・林春男 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|---|--------------------------------------|---|
| 2007 | 私の研究経歴書 | 自然災害科学, Vol.25, No.4, pp.453-458 | |
| 2007 | 来たる東海・東南海・南海地震の時間差発生における問題の構造 | 地域安全学会論文集, No.9, pp.137-146 | 照本清峰・鈴木進吾・須原寛・田畑博史・中嶋宏行・紅谷昇平・吉川忠寛・稲垣景子・牧紀男・林能成・木村玲欧・大野淳・林春男 |
| 2007 | 大規模水害の減災 | 減災, Vol.2, pp.12-28 | |
| 2007 | 大規模災害時の相互支援の費用負担に関する研究-新潟県中越地震を事例に- | 減災, Vol.2, pp.128-133 | 船木伸江・矢守克也 |
| 2007 | 想定東海地震における災害廃棄物処理の広域連携方策に関する研究 | 減災, Vol.2, pp.134-140 | 平山修久 |
| 2007 | 災害発生直後における水道応急復旧目標設定手法に関する研究 | 日本災害情報学会学会大会研究発表予稿集, 第9回, pp.123-128 | 平山修久, 伊藤禎彦 |
| 2007 | 地域特性からみた市民の震災リスク認知に関する研究 | 日本リスク研究学会研究発表講演論文集, 第20回, pp.471-476 | 平山修久, 村山留美子, 岸川洋紀, 中畝菜穂子, 内山巖雄 |
| 2007 | スーパー広域災害における災害廃棄物の広域連携シミュレーションモデルの構築 | 廃棄物学会研究発表講演論文集, 第18回, pp.246-248 | 平山修久 |
| 2007 | 米国ハリケーン・カトリナ災害における水害廃棄物処理マネジメント | 廃棄物学会研究発表講演論文集, 第18回, pp.255-257 | 近藤伸也, 近藤民代, 永松伸吾, 平山修久 |
| 2007 | 東南海・南海地震発生時の津波廃棄物発生量の推定手法に関する研究 | 廃棄物学会研究発表会講演論文集, No.18, pp.249-251 | 小鯛航太 鈴木進吾 平山修久 |
| 2007 | 目標による管理に基づく災害対応に向けた応急復旧目標の設定手法に関する研究 | 全国水道研究発表会講演集, 第59回, pp.616-617 | 平山修久, 伊藤禎彦 |
| 2007 | 目標による管理に基づく災害時応急給水に関する考察～新潟県中越沖地震における自衛隊による応急給水活動事例による～ | 全国水道研究発表会講演集, 第59回, pp.626-627 | 水中進一, 平山修久, 伊藤禎彦 |
| 2007 | 防災問題における資料解析研究(34) | 京都大学防災研究所年報, 50号A, pp.167-172 | 林春男・矢守克也・牧紀男・川方裕則 |
| 2007 | 2006年2月フィリピン・レイテ島地滑り災害からの生活再建と地域復興 - 第2次現地調査の結果に基づいて - | 京都大学防災研究所年報, 50号A, pp.153-160 | 矢守克也・横松宗太・奥村与志弘・阪本真由美 |
| 2007 | 適切な専門用語を創る | 科学, Vo.77, No.7, pp.653 | |
| 2007 | 自然災害の新しい脅威と災害対応の課題 | 月刊フェスク, No.312, pp.4-9 | |
| 2007 | 東南海地震災害と警察官の心構え | けいさつの友, 455号, pp.3-6 | |
| 2007 | 巨大地震最新シミュレーション 迫り来る東海・東南海・南海地震を徹底検証 | Newton, 第27巻, 第3号, pp.14-27 | |
| 2007 | 臨海部の防災対策の今後の視点 | 港湾, 6月号, pp.6-7 | |
| 2007 | 地震などの巨大災害の減災について | けんざい, No.213, pp.6-8 | |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|--|
| 2007 | 「日本の防災行政システムの進展と今日の課題」コメント | IATSS ReView, Vol.32, No.2, pp.74-77 | |
| 2007 | 自然災害の脅威と社会インフラの被害抑止 | 電気協会報, No.994, pp.7-12 | |
| 2007 | 正しい理解でユビキタス減災社会を | 建設資材情報, No.55 | |
| 2007 | 災害を可視化・定量化し適応するマネジメント手法を開発 | 月刊地震レポート サイスマ, No.131, pp.10-11 | |
| 2007 | 住宅診断を受けよう～ユビキタス減災社会を目指して | けんざい, No.212, p.12 | |
| 2007 | 必ず起こる南海地震 関西の地震リスクと企業の危機管理 | 関西トップセミナー 先手を取る 2007 | |
| 2007 | キーワード事典, 社会生活「防災」 | 最新キーワード事典 イミダス, 2007, pp.657-661 | |
| 2007 | Building an integrated database system of information on disaster hazard, risk, and recovery process -cross-media database (4) | 京都大学防災研究所年報, 50号C, pp.63-67 | Maki N., H.Kawakata, P. Yoshitomi, G. Urakawa, K.Chan, H.Matsura, K.Tatsumi, T.Hara, M.Inokuchi, M.Higashida, H. Hayashi |
| 2008 | 自然災害の新しい脅威と災害対応の課題 | 減災, Vol.3, pp.14-20 | |
| 2008 | 開発途上国の災害復興に対する国際支援事例研究(1)-インドネシアの津波・地震災害復興に関する考察- | 地域安全学会論文集, No.10, pp.243-251 | 阪本真由美・奥村与志弘・矢守克也 |
| 2008 | 東南海・南海地震による津波災害と防災 | 海洋理工学会誌, Vol.13, No.1, pp.61-68 | |
| 2008 | 阪神・淡路大震災以後, わが国の震災対策はどう変わったのか | 比較防災学ワークショップ Proceedings, 第8回, pp.17-20 | |
| 2008 | 防災問題における資料解析研究(35) | 京都大学防災研究所年報, 51号A, pp.139-144 | 林春男・矢守克也・牧紀男・鈴木進吾 |
| 2008 | 開発途上国の防災事業に対する国際支援事例研究-インドネシア被災地域の災害観をふまえた支援に関する考察- | 京都大学防災研究所年報, 51号A, pp.197-204 | 阪本真由美 |
| 2008 | 目標による管理を組み込んだ水道事業体の災害対応マネジメントに関する研究 | 環境衛生工学研究, Vol.22 No.3, pp.35-42 | 近藤民代・平山修久 |
| 2008 | インド洋津波災害における災害復興支援の有用性と課題～バンダ・アチエの事例より～ | アジア・アフリカ研究, Vol.48 No.4, pp.49-64 | 阪本真由美・阪本将英 |
| 2008 | 東南海・南海地震における上水道の応急復旧目標設定に関する研究 | 土木学会第63回年次学術講演会講演概要集, 第7部門7-032, pp.63-64 | 平山修久 |
| 2008 | インドネシアの災害文化に関する一考察-津波災害復興状況調査を踏まえて | 日本自然災害学会学術講演会, 第27回, pp.83-84 | 奥村与志弘・高橋智幸・越村俊一・原田賢治・鈴木進吾 |
| 2008 | 人的被害からみた東南海・南海地震時の津波廃棄物特性に関する考察 | 日本自然災害学会学術講演会, 第27回, pp.109-110 | 平山修久 |
| 2008 | 大阪湾における津波被害について | 日本自然災害学会学術講演会, 第27回, pp.113-114 | 野村清順 |

| 発表年 | 論文名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|------------------------|
| 2008 | 図上訓練での対応事例を踏まえた自治体の災害情報マネージメント | 日本自然災害学会学術講演会, 第27回, pp.169-170 | 近藤伸也・目黒公郎 |
| 2008 | 新潟県中越地震発生後に(旧)山古志村に生じた孤立時の対応課題 | 日本自然災害学会学術講演会, 第27回, pp.185-186 | 照本清峰・澤田雅浩・近藤伸也・福留邦洋 |
| 2008 | 津波浸水による住家被害を考慮した津波廃棄物発生量ポテンシャルの推定手法の開発 | 環境システム研究論文発表講演集, 第36回, pp.147-153 | 平山修久, 原田賢治, 大利桂子, 鈴木進吾 |
| 2008 | 自衛隊の災害派遣活動に係る地方自治体の費用分担について | 日本災害情報学会学会大会, 第10回, pp.1-6 | 水中進一, 平山修久 |
| 2008 | 新潟県中越沖地以降の命を守るシステム構築に向けた行政の動向～東京都渋谷区の動きを中心に～ | 日本災害情報学会学会大会, 第10回, pp.55-60 | 堀井宏悦, 平山修久 |
| 2008 | 災害対策のあり方と今後の課題 | 生活と環境, Vol.53, No.3, pp.5-9 | |
| 2008 | 身近な話題から危機管理の教訓を得る | JA CIC情報, 第89号, Vol.23, No.1, p.1 | |
| 2008 | 地方自治体の危機管理と業務継続計画 | 議長会報, No.385, p.10 | |
| 2008 | 災害多発時代を生き抜く知恵 | 月刊建設, Vol.52, pp.4-5 | |
| 2008 | 防災シミュレーション あくまでも近似解としての防災シミュレーションと必要な常識 | 科学, Vol.78, pp.1148-1149 | |
| 2008 | 高速道路の今後の災害対策のあり方 | 高速道路と自動車, Vol.51 No.9, pp.5-8 | |
| 2008 | 東南海・南海地震と警察への期待 | けいさつの友, 464号, pp.8-11 | |
| 2008 | 高波災害の特徴と今後の減災対策のあり方 | 河川, No.747, pp.3-9 | |
| 2008 | わが国の災害復興の現状と課題 | EAST TIMES 東日本保証広報誌, 2008.11, pp.4-7 | |
| 2008 | 来るべきスーパー都市災害への備え | 総研号 ロジスティクス, Vol.4, pp.6-9 | |
| 2008 | 企業の水害リスクとその被害軽減に向けて | リスクマネジメント TODAY, Vol.51, pp.6-9 | |
| 2008 | 防災 予想上回る被害が懸念されるゲリラ豪雨と巨大地震 | 週刊ダイヤモンド, 第97巻1号, p.158 | |
| 2008 | Recent development of tsunami disaster reduction management in Japan after the 2004 Indian Ocean Tsunami | Risk Analysis VI, pp.159-168 | |
| 2008 | Effects of rise time and rupture velocity on tsunami | The 17th international Offshore and Polar Engineering Conference, CDROM | Okumura, Y. |
| 2008 | Disaster reduction strategy of tsunami | Proc. 4th International Workshop on Coastal Disaster Prevention, pp.37-38 | |
| 2008 | Urban flood control policy for sustainability under global warming in Japan | Flood Recovery, Innovation and Response, pp.273-282 | |
| 2008 | Emergency Debris Management Including Wide Area Cooperative Measures on the Super Huge Disasters | The Fifth Asian-Pacific Landfill Simposium, CDROM | Hirayama,N. |

著 書

| 発表年 | 著書名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|--|---|--------------------------|
| 1989 | 漂砂 | 土木工学ハンドブック, 44 海岸 第9章, pp.1899- 1906, (社)土木学会 | 磯辺雅彦・柴山哲也ほか |
| 1994 | どぼく・とおく | p.216, 土木学研究会 | 隅野哲郎・池亀健治ほか |
| 1995 | 都市大災害 | p.232, 近未来社 | |
| 1995 | 大阪湾の津波 | 海底地盤-大阪湾を例として -, pp.289-294, 土質工学会 関西支部 | 嘉門雅史・足立 徹・赤井 浩一ほか |
| 1996 | 津波 | 海域環境創造辞典, pp.117- 118, 沿岸域環境研究所 | 嘉門雅史・盛岡 通ほか |
| 1997 | 津波・高潮・洪水氾濫災害 | 地域防災計画の実務, pp.127-150, 鹿島出版会 | 林 春男・亀田弘行・井野 盛夫ほか |
| 1997 | 危機管理と総合防災システム | 地域防災計画の実務, pp.198-220, 鹿島出版会 | 井野盛夫・亀田弘行 |
| 1997 | 自治体の危機管理 | 防災まちづくりの新設計 市町村アカデミーかえる叢書 Vol.7, pp.59-89, ぎょうせい | 室崎益輝・吉井博明・東尾 正ほか |
| 1998 | 水循環と流域環境『水系における物質循環』『環境 変化と開発による将来の災害』『地球環境を考慮し た水資源の開発、水利用、技術の方向』 | 岩波講座 地球環境学 7, p.305, 岩波書店 | 高橋 裕・宝 馨・大久保賢 治ほか |
| 1998 | 容積率緩和で増大する震災ポテンシャル | 大震災以後, pp.281-285, 岩 波書店 | 室崎益輝・入倉孝次郎・金 森博雄ほか |
| 1998 | 都市防災 未来への提言 | 大震災以後, pp.331-356, 岩 波書店 | 室崎益輝・入倉孝次郎・金 森博雄ほか |
| 1998 | 漂砂環境 | 漂砂環境の創造に向けて, pp.3-15, (社)土木学会 | 加藤一正・磯辺雅彦・柴山 智也ほか |
| 1999 | 環境圏の新しい海岸工学 | 第6章第1節, pp.989-1005, フジ・テクノシステム | 榎木 亨・出口一郎・酒井 哲郎ほか |
| 1999 | 被害を小さくする危機管理 | 市民による防災まちづくり, pp.213-252, 春日井安全ア カデミー | 伊藤和明・立木茂雄・小林 郁夫ほか |
| 1999 | 土木学と都市防災論 | 土木学を語る, pp.209-268, 都市計画通信社 | 竹内良夫・梅原 猛・井上 ひさしほか |
| 2000 | 総論、計画の基本、モニタリング | 海岸施設設計便覧, 第3章 3.1, 3.2, 3.7, pp.193-203, 220-221, (社)土木学会 | 磯部雅彦・水口優・三村信 男・喜岡 涉ほか |
| 2001 | 自然災害の危機管理 | p.283, ぎょうせい | 佐々淳行・伊藤和明・大西 隆・廣井 脩ほか |

| 発表年 | 著書名 | 発表誌名 | 共著者 |
|------|----------------------------|---|-------------------|
| 2001 | 自然災害の変遷、避難、災害史年表 | 防災学ハンドブック, pp.12-13, 302-3-4, 699-707, 朝倉書店 | 今本博健・池淵周一・入倉孝次郎ほか |
| 2001 | 高潮害 | 地域防災データ総覧(風水害編), 2.2.2, pp.47-51, (財)消防科学総合センター | 片田敏孝・高橋和雄・岩松暉ほか |
| 2002 | 防災事典 | p.543, 築地書館(株) | 土岐憲三・林春男・石原和雄ほか |
| 2003 | 三重の地震・津波読本 | p.200, (株)アイブレーション | 奥村武司ほか |
| 2003 | 津波防災 | 防災学講座2 地震災害論, pp.171-206, 山海堂 | 橋本学・安藤雅孝・中島正愛ほか |
| 2003 | 危機管理－安全/安心な社会を目指して | 防災学講座4 防災計画論, pp.179-211, 山海堂 | 林春男・今本博健・岡田憲夫 |
| 2004 | 南海地震を学ぶ～かならずやってくる南海地震に備えよう | p.29, 高知県 | 今村文彦 |
| 2005 | 開催の経緯、目的 | 阪神・淡路大震災 向き合い続けた10年, pp.6-10, 神戸新聞総合出版センター | 新野幸次郎・林春男 |
| 2005 | 事例に学ぶ危機管理 | 防災対策と危機管理 Vol. 6, pp.39-98, ぎょうせい | 室崎益輝・吉井博明・東尾正ほか |
| 2005 | 揺れているときはどうしたらいいの？ | 12歳からの被災者学, p.239, NHK出版 | 土岐憲三・林春男ほか |
| 2005 | 自然災害(風水害) | 環境都市計画事典, pp.274-275, (株)朝倉書店 | 丸田頼一・家田仁・石川幹子ほか |
| 2005 | 百世の安堵をはかれ/安政大地震・奇跡の復興劇 | その時歴史が動いた 34, pp.27-61, 中央出版(株) | 松平定知 |
| 2005 | 架空防災対談 津波から身を守る | 津波から人びとを救った稲むらの火, p.149, 文溪堂 | 阿部勝征 |
| 2005 | スマトラ沖地震 インド洋大津波 | ブリタニカ国際年鑑, pp.134-141 | |
| 2005 | 新潟県中越地震 | ブリタニカ国際年鑑, pp.404-409 | |
| 2006 | 防災 | imidas 2006, pp.555-558, 集英社 | |
| 2006 | 子ども地震サイバイバルマニュアル | pp.1-198, ポプラ社 | 国崎信江 |
| 2006 | 必携地震対策完全マニュアル | p.73, PHP研究所 | 細川顕司・矢守克也・能島暢呂ほか |
| 2006 | スーパー都市災害から生き残る | p.191, (株)新潮社 | |
| 2007 | 防災 | imidas 2007, pp.657-661, 集英社 | |
| 2007 | 巨大な自然災害と防災工学 | リスク学辞典, pp.129-131, 阪急コミュニケーションズ | 盛岡通・池田三郎・広瀬弘忠ほか |
| 2008 | 防災 | imidas 2008インターネット配信, 集英社 | |
| 2008 | これからの防災・減災がわかる本 | p.230, 岩波ジュニア新書 | |
| 2008 | TSUNAMI | 第3章第1節, pp.119-125, 丸善プラネット | 今村文彦・高山知司・加藤一成ほか |